INAX

Shower toilet

取扱説明書

保証書別添

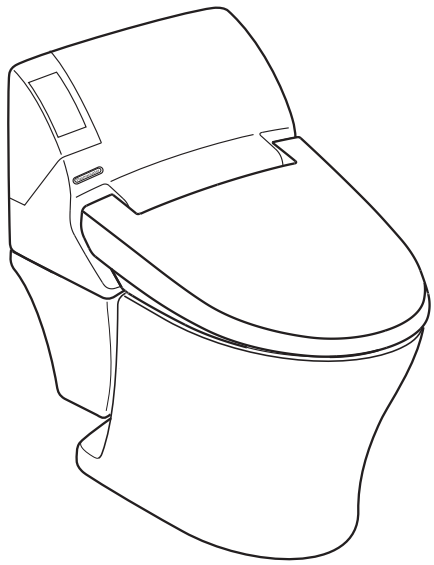
定期点検情報掲載

この度は、当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、
大切に保管してください。

※この説明書は、センサー大便器共通のものです。

センサー大便器

DV-156 型
DV-155 型
DV-151 型



プラ
袋:PE

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、
次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。
また、定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

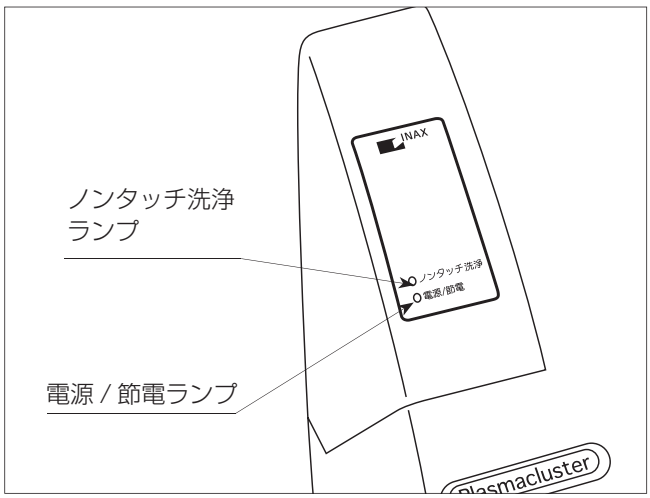
もくじ

各部のなまえ	1
安全上の注意	5
お取り扱い上の注意	9
お使いになる前に確認してください	11
ご使用方法	
●ご使用前の準備 (電源・便座・温水)	13
●基本機能の使いかた (おしり・ビデ洗浄)	15
(ワイド洗浄・洗浄位置)	16
(脱臭)	17
(スーパーノズルクリーニング)	18
(便器洗浄)	19
(節電)	20
(流水音)	21
(プラズマクラスター)	22
(より快適な機能)	23
●知っておいていただきたいこと	24
●断水したときの便器洗浄のしかた	25
●停電したときの便器洗浄のしかた	26
お手入れ方法	
●日頃のお手入れ	27
●便フタの外しかた	29
●脱臭効果が弱くなった場合	30
●化粧板の外しかた	31
●便器洗浄が弱くなってきたなと思ったら	32
●シャワーが弱くなってきたなと思ったら	32
●リモコンの電池交換	33
●流水音が小さいまたは大きいと思ったら	34
●フィルターのおそうじ	34
●定期的な点検のお願い	35
長期間使用しない場合	36
冬期凍結の恐れがある場合	37
重大事故防止のためのお願い	38
修理を依頼される前に	
●故障かなと思ったら	39
安全・安心にお使いいただくために	43
アフターサービス	46
仕様	48
別売品のご案内	50

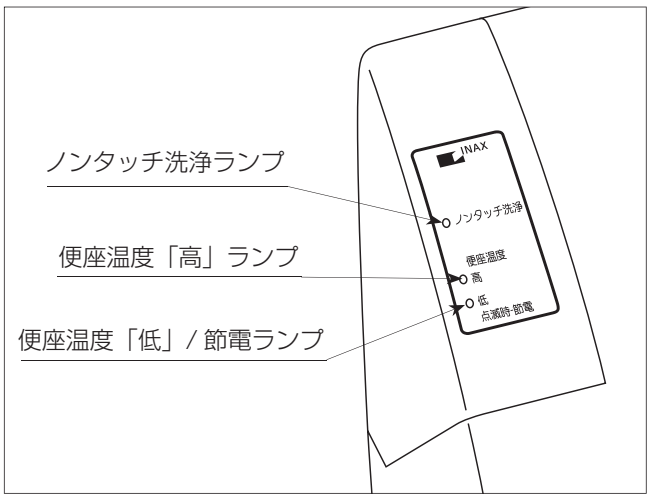
各部のなまえ

■全体図　※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

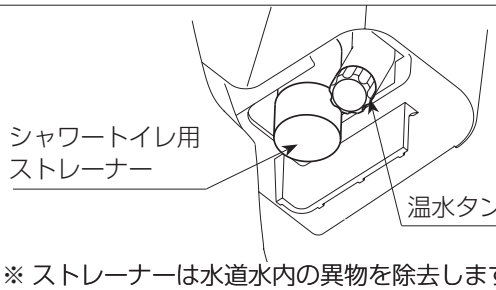
■表示部〈シャワートイレの場合〉



■表示部〈暖房便座の場合〉

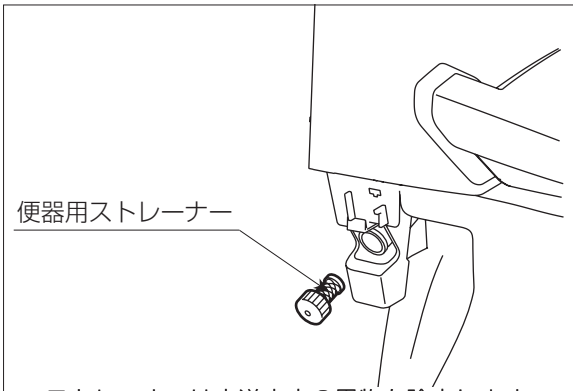


■ストレーナー、温水タンク水抜栓〈シャワートイレの場合〉



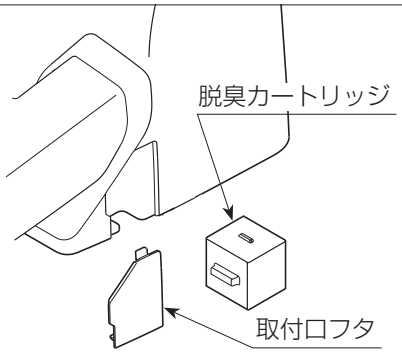
※ ストレーナーは水道水内の異物を除去します。
※ ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてから外してください。
外すときは少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。
※ 温水タンク水抜栓は、温水タンク内の水を抜くときに外します。

■便器用ストレーナー



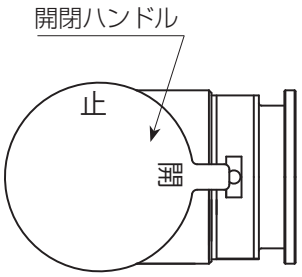
※ ストレーナーは水道水内の異物を除去します。
※ ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてから外してください。
外すときは少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。

■脱臭カートリッジ〈シャワートイレの場合〉



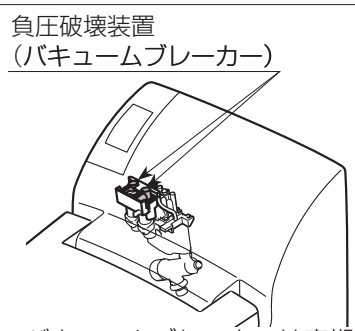
※ ニオイを吸収・除去します。
※ 脱臭カートリッジは、すでに商品に組み込まれています。

■止水栓



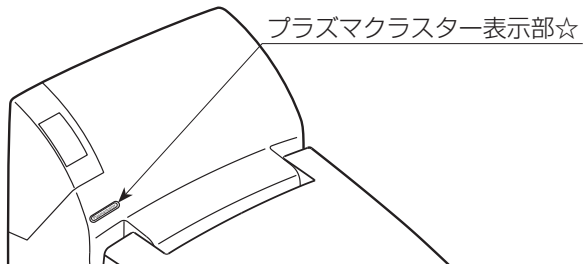
※ 止水栓の開閉ハンドルは便器への洗浄水を止めるときに使用します。
必ず全開でご使用ください。
※ 機種によっては、形状が異なります。

■負圧破壊装置（バキュームブレーカー）



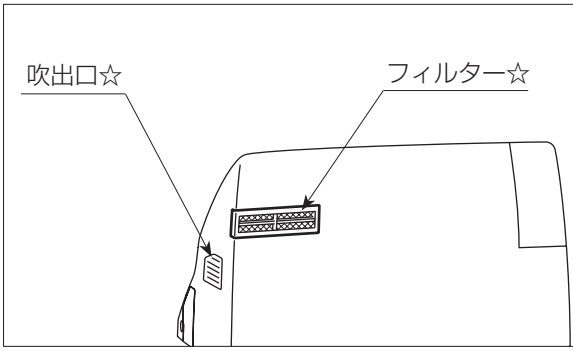
※ バキュームブレーカーは定期的な点検が必要です。詳しくは 35 ページをご覧ください。
※ 本体に内蔵されています。

■プラズマクラスター表示部〈シャワートイレの場合〉



※ プラズマクラスター機能の無い機種の場合、プラズマクラスター表示部はありません。

■プラズマクラスター吹出口〈シャワートイレの場合〉



■リモコン〈シャワートイレの場合〉 ※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

■操作部

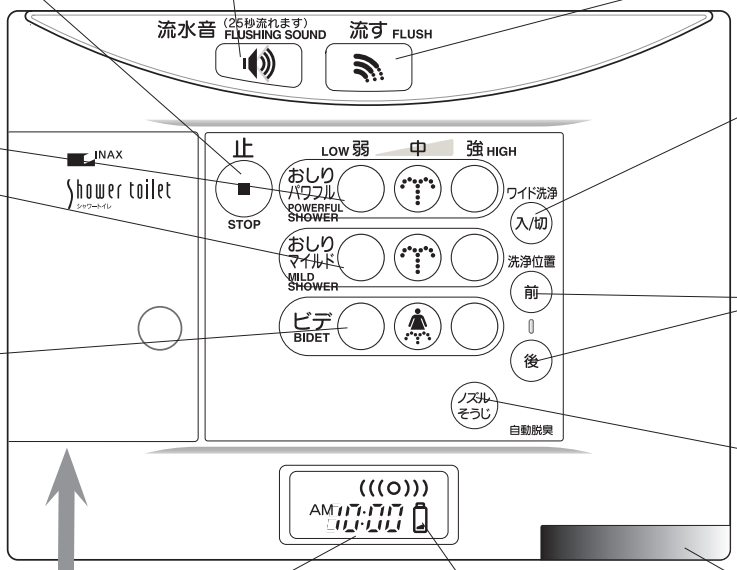
止
●おしり洗浄●ビデ洗浄の動作を止めます。

流水音 ★
流水音が 25 秒間流れます。
（☞ 21 ページ）

流す
便器洗浄をするときに使用します。（☞ 19 ページ）

おしり
パワフル
マイルド
おしりを洗うときに使用します。
（☞ 15 ページ）

ビデ
ビデ洗浄のときに使用します。
（☞ 15 ページ）



ワイド洗浄
ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。（☞ 16 ページ）

洗浄位置
洗浄位置を調節します。（☞ 16 ページ）

ノズルそうじ
ノズルの掃除に使用します。
（☞ 18 ページ）

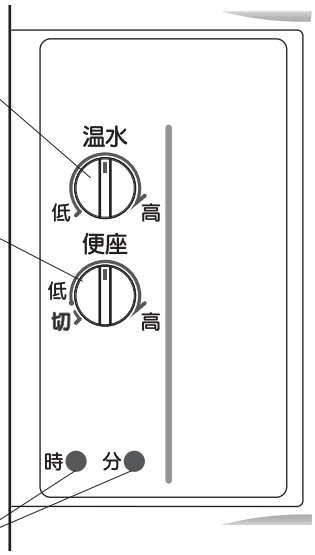
時刻表示
（☞ 12 ページ）

電池マーク
電池の寿命が近づくと点滅します。
（☞ 33 ページ）

送信部

キャップを取り、ねじを外してフタを開けます。

■副操作部



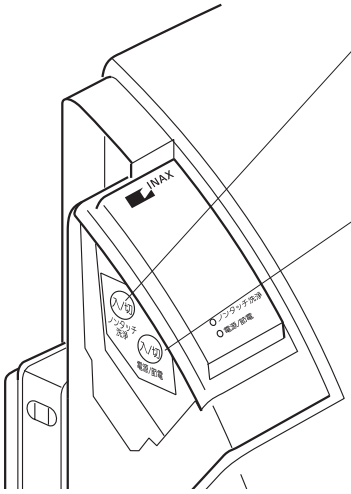
温水
温水温度を調節します。（☞ 13 ページ）

便座
暖房便座の温度を調節します。
（☞ 13 ページ）

時・分
時計の時刻を合わせるときに使用します。（☞ 12 ページ）

■本体操作部〈シャワートイレの場合〉

点検口フタは、キャップを外してねじを外すと、開けることができます。



ノンタッチ洗浄
便座から立ち上がると自動的に便器内を洗浄します。
（☞ 19 ページ）

電源／節電
シャワートイレ本体の電源を入 / 切したり、温水と暖房便座を切って節電します。（☞ 13、20 ページ）

※ 脱臭は便座に座ると、自動的に始まります。（☞ 17 ページ）

■リモコン〈暖房便座の場合〉

■操作部

壁リモコン

流す
便器洗浄をするときに使用します。(☞ 19 ページ)

電池ランプ
電池の寿命が近づくと点滅します。(☞ 33 ページ)

送信部

埋込リモコン

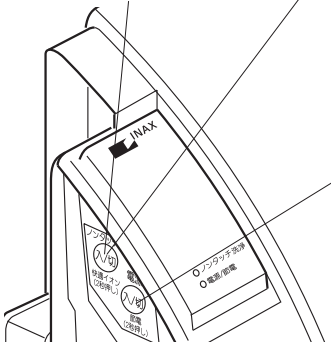
送信部

流す
便器洗浄をするときに使用します。(☞ 19 ページ)

■本体操作部〈プラズマクラスター付の場合〉

点検口フタは、キャップを外してねじを外すと、開けることができます。

ノンタッチ洗浄
便座から立ち上がると自動的に便器内を洗浄します。(☞ 19 ページ)



プラズマクラスター
ノンタッチ洗浄スイッチを2秒以上押すとイオンを出して、部屋を快適にします。(☞ 22 ページ)

電源／節電
シャワートイレ本体の電源を入 / 切したり、温水と暖房便座を節電します。(☞ 13、20 ページ)

※ 脱臭は便座に座ると、自動的に始まります。(☞ 17 ページ)

■本体操作部〈暖房便座の場合〉

点検口フタは、キャップを外してねじを外すと、開けることができます。

ノンタッチ洗浄
便座から立ち上がると自動的に便器内を洗浄します。(☞ 19 ページ)

便座／節電
暖房便座の温度を調節したり、暖房便座を節電します。(☞ 14、21 ページ)

安全上の注意（必ずお守りください。）

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ・・・・ この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容を示します。

注意 ・・・・ この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生する恐れが想定される内容を示します。

・・・・ この表示は「注意しなさい！」の記号です。（上記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止
・・・・ この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。

指示実行
・・・・ この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。

⚠警告

●長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬等、眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕
※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。また漏電遮断器を確実に取り付けてください。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ アース・漏電遮断器の取付けは、電気工事店にご相談ください。

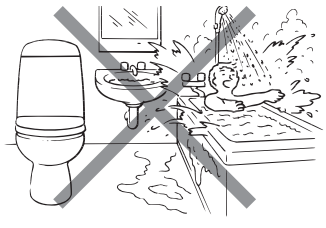
アース接続

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

分解禁止

バスルーム等、湿気の多い場所には設置しないでください。
※感電・火災の原因になります。

水場使用禁止



●交流 100V 以外では使用しないでください。
●タコ足配線はしないでください。
※ 火災の原因になります。

禁止

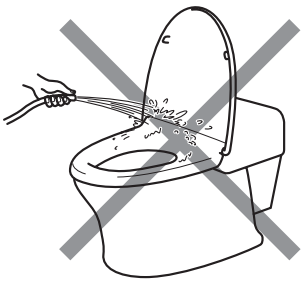
●ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。

禁止

⚠警告

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。



水かけ禁止

●シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障（異音･異臭･発煙･高温･割れ・漏水）した場合、漏電遮断器を「切」にして、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しないでください。

※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。

●シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、漏電遮断器を「切」にして、止水栓を閉めてください。

※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。

指示実行

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。
（37 ページ）

※凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

指示実行

電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。

※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

禁止

電池は以下の事を守り、正しく使用してください。

●⊕⊖を正しく入れてください。

●長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

●使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。

●電池を破棄するときは、テープ等で絶縁を行ってください。

※ 電池の液もれにより火災の原因となります。

●乳幼児の手の届く場所には置かないでください。

※ 誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

●電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流してください。

●液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ってください。

※ 失明の恐れがあります。医師に相談してください。

指示実行

電池を取り扱うときは、以下の事はしないでください。

●金属製のもの（ネックレス・ヘアピン等）と一緒に持ち込んだり保管しないでください。

●新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に使用しないでください。

●過熱・分解したり、水や火の中に入れたりしないでください。

※ 電池の液もれにより火災の原因となります。

禁止

⚠注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。

禁止

※プラスチック部が割れてケガの原因になります。
※感電・火災の原因になります。

タバコや灰皿等の火気類を近づけないでください。

火気禁止

※火災の原因になります。

脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れないでください。

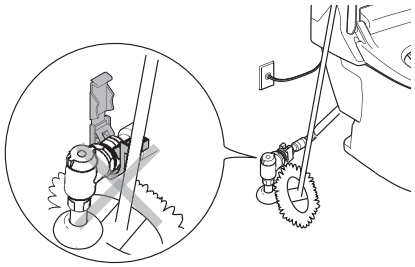
禁止

※ ケガの原因になります。

清掃時等、クリップに衝撃を与えたり、引っ掛けたりしないでください。

禁止

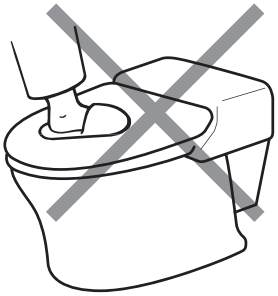
〈クリップ仕様の場合〉
※クリップの破損等による給水ホースが外れ、室内浸水の原因となります。



便フタや本体の上に乗らないでください。

禁止

※ 破損してケガをすることがあります。



●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉めてください。

指示実行

●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認してください。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

便器に熱湯をそそがないでください。また、衝撃を与えないでください。

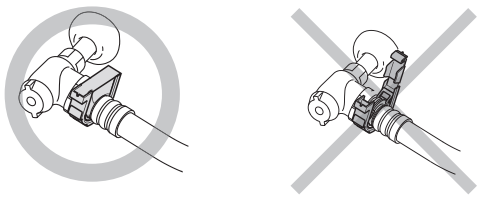
禁止

※破損や漏水の原因になります。

クリップは給水ホースに、確実にはまっている事を確認してください。

指示実行

〈クリップ仕様の場合〉
※ はまっていないと給水ホースが外れ、漏水する恐れがあります。



⚠注意

便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。
※ 破損部でケガをすることがあります。
早めに交換してください。

接触禁止

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、漏電遮断器を「切」にしてください。(36 ページ)
※凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。
※水が汚れて皮膚の炎症等を起こす原因になります。

指示実行

定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認してください。
※部品の劣化・摩耗等になる水漏れが発見できず、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

指示実行

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

便フタにもたれないでください。
※ケガをしたり、破損したりすることがあります。

禁止

止水栓に手をかけたり、乗ったりしないでください。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

水道水以外に接続しないでください。
※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

禁止

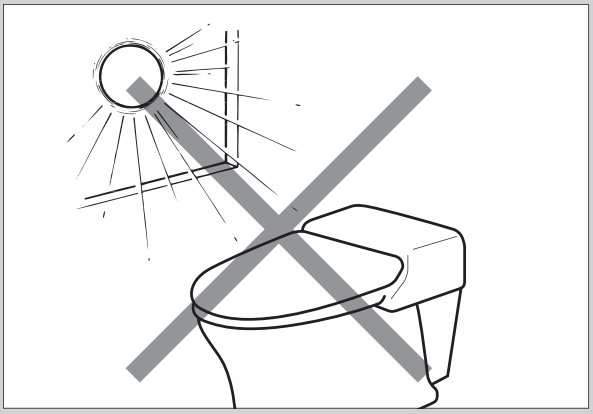
次のような方が使用されるときには、周りの方が転倒に注意してください。
〔お子さま、お年寄り、ご自分で座ることや立ち上がることができない方〕
※ケガをしたり、破損したりすることがあります。

指示実行

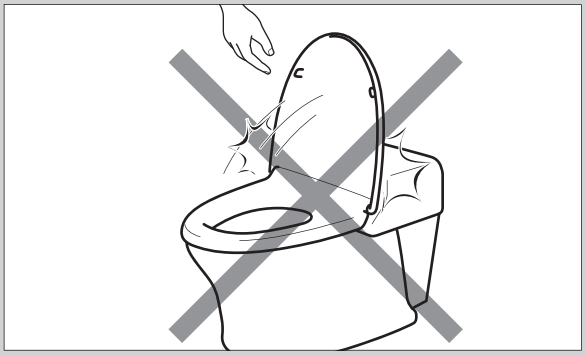
お取り扱い上の注意

■故障を起こさないために守ってください。

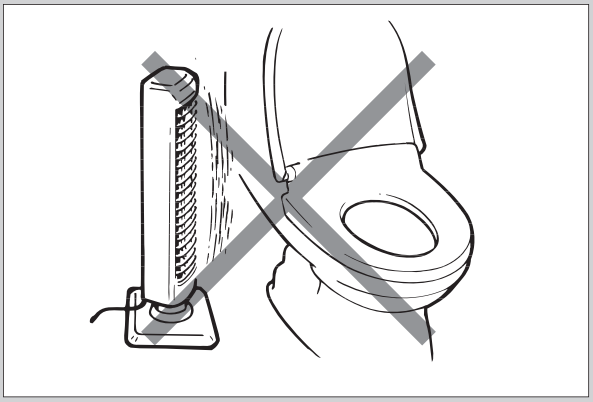
直射日光が当たらないようにしてください。
※プラスチック部が変色することがあります。
※リモコンの作動不良の原因になります。



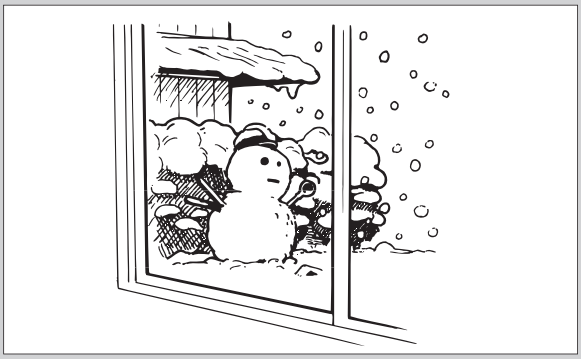
便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※割れたり**漏電等、故障の原因**となることがあります。



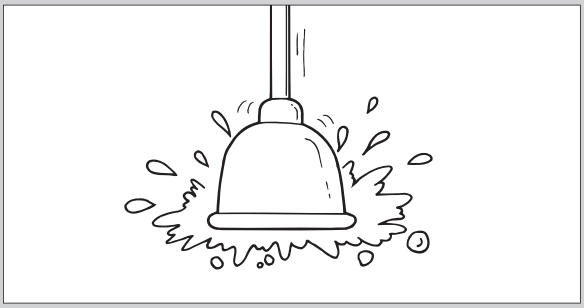
シャワートイレ本体にストーブやヒーター等を近付けすぎないでください。
※**変色や故障の原因**になります。



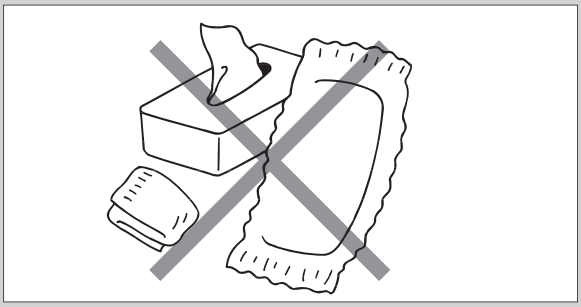
凍結の恐れがあるような夜間は、凍結による破損を防止するために凍結防止方法を実施してください。
(☞ 37 ページ)



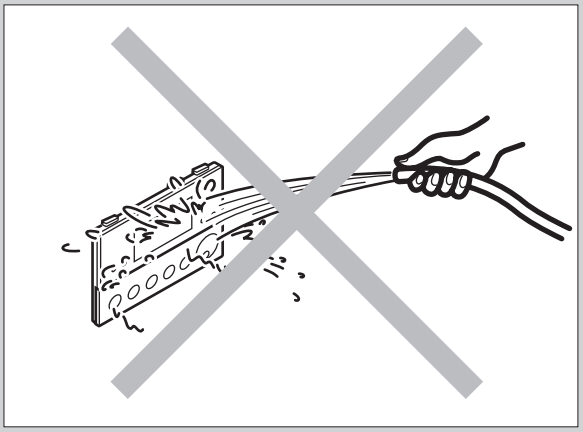
万一詰まった場合には、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。詰まったまま水を流さないでください。
※便器から汚水があふれて、床を汚すことがあります。



トイレットペーパー以外の紙を使用したり、便鉢に配管がつまるような異物を落とさないでください。
誤って落とした場合は、水を流す前に拾いだしてください。



リモコンに水や洗剤をかけないでください。
※故障の原因となることがあります。



本体・便座・便フタなどのプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパー等でふかないでください。
※傷つきの原因になります。
詳しいお手入れ方法は 27 ページをご覧ください。

プラスチック部に、トイレ用消臭剤をかけないように注意してください。
かかった場合は、すぐにふき取ってください。
※光沢が無くなることがあります。

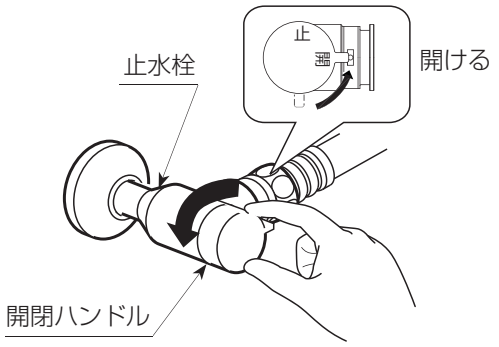
ぬれた手でリモコンを操作しないでください。
※故障の原因となります。

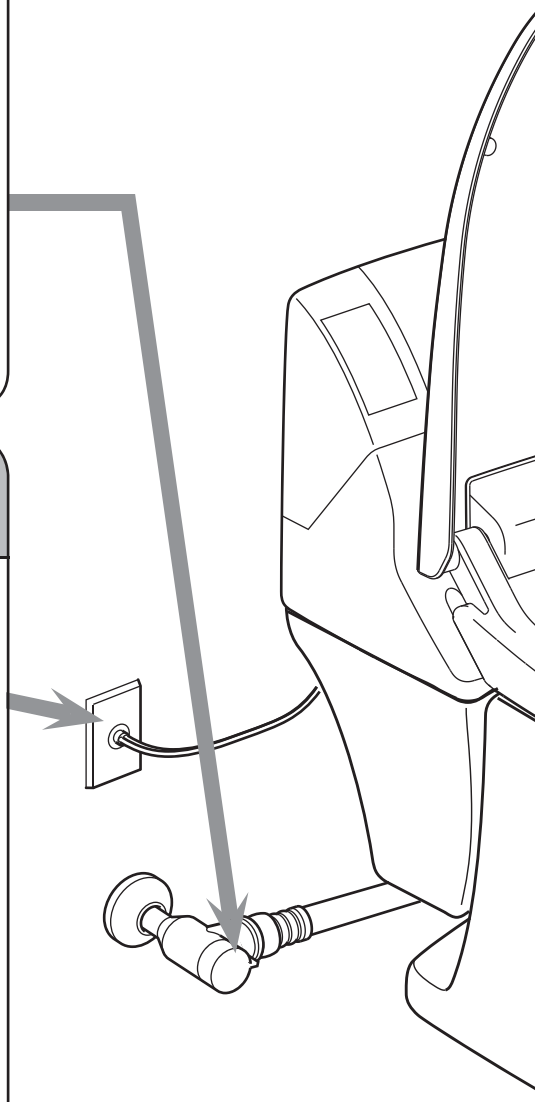
お使いになる前に確認してください

シャワートイレをはじめて使用される前に必ず下記の項目を確認してください。

1 止水栓が開いていることを確認します。

止水栓が閉まっている場合は、開閉ハンドルを反時計回りに 90° 回し、全開にします。



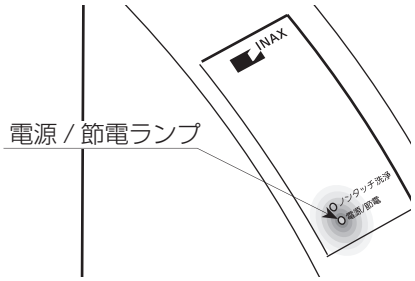


2 電源とアース線を確認します。

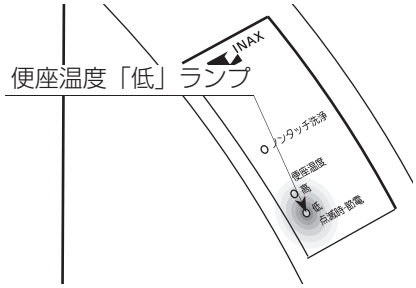
1. **シャワートイレの場合、アース線が取り付けられていることを確認します。**
2. **漏電遮断器を「入」にします。**
3. **表示部の電源 / 節電ランプが点灯していることを確認します。暖房便座の場合は、表示部の便座温度「低」ランプが点灯していることを確認します。**

   表示部の電源 / 節電ランプ（赤）、または便座温度「低」ランプ（赤）が点灯します。

シャワートイレの場合



暖房便座の場合



⚠ 警告

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。また漏電遮断器を確実に取り付けてください。

※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。

※ アース・漏電遮断器の取付けは、電気工事店にご相談ください。

⚠ 警告

- 交流 100V 以外では使用しないでください。
- タコ足配線はしないでください。

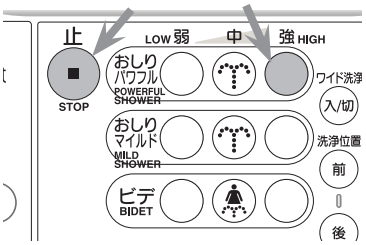
※ 火災の原因になります。

〈シャワートイレの場合〉

3 おしり洗浄を確認します。

1. **腕を便座にのせたまま、おしり（パワフル）スイッチを押します。**
2. **ノズルが伸びてきたら、先端に手をかざしてシャワーを受け止めます。**

   ただし温水タンクが満水でないと約 1 分かかることがあります。



3. **シャワーを止めるときは、止スイッチを押します。**

   ご使用方法（13 ページ以降）をご覧になって他の機能も確認してください。

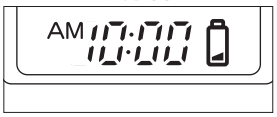
※ 人が便座に座ったことを検知する**着座センサー**が付いています。**おしり洗浄、ビデ洗浄は着座していないと作動しません。**

■ 時計の合わせかた ※ AM (午前)、PM (午後) に注意してください。

「時」と「分」スイッチを押して時刻を合わせます。（☞ 3 ページ）

時刻合わせスイッチ

表示部

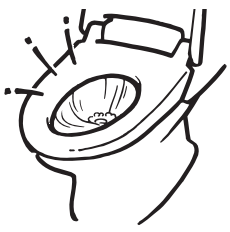


〈暖房便座の場合〉

3 便器洗浄を確認します。

流すスイッチを押します。

便器内を洗浄することを確認します。



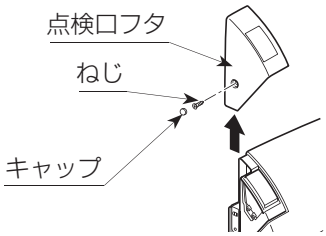
ご使用方法

《ご使用前の準備》

シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

〈シャワートイレの場合〉

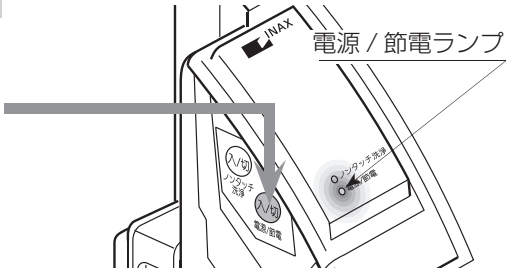
点検口フタは、キャップを外してプラスドライバーでねじを外すと、開けることができます。



■電源（電源の入／切）

電源 / 節電スイッチを押して電源の入／切をします。

※ 電源が入ると表示部の電源 / 節電ランプが点灯します。



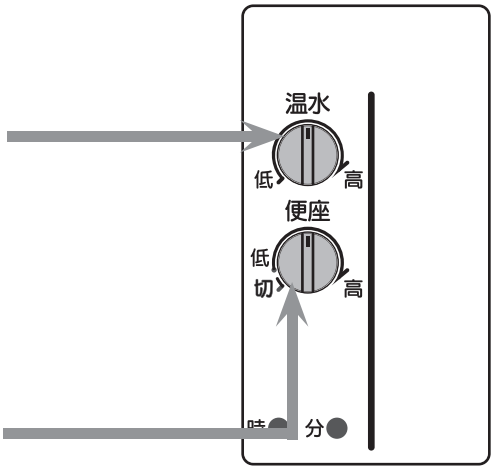
副操作部のフタは、キャップを外してプラスドライバーでねじを外すと、開けることができます。

■温水（シャワーの温めかた）

温水ダイアルでシャワーの温度を調節します。

ダイアルを「高」側に回すと温度が上がります。
ダイアルを「低」側に回すと温度が下がります。

※ シャワーはすぐには温まりません。あらかじめ使用する 10～15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。



■便座（便座の暖めかた）

便座ダイアルで便座の温度を調節します。

ダイアルを「高」側に回すと温度が上がります。
ダイアルを「低」側に回すと温度が下がります。
ダイアルの「切」の位置では、便座は暖まりません。

※ 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。

⚠ 警告

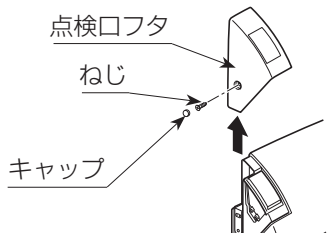
- 長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
- 次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
  〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬等、眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕

指示実行

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

〈暖房便座の場合〉

点検口フタは、キャップを外してプラスドライバーでねじを外すと、開けることができます。

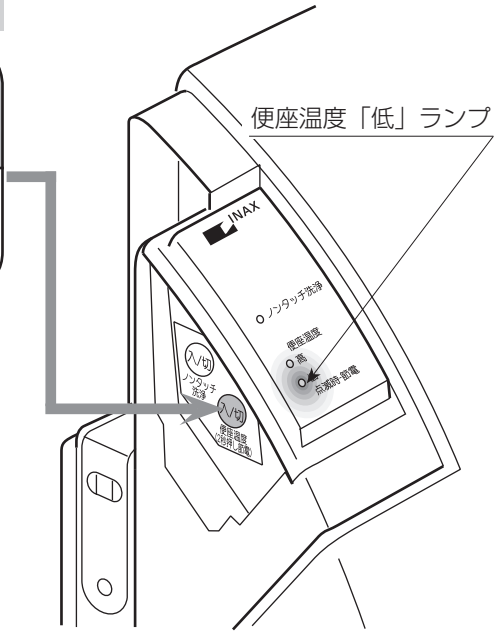


■便座（便座の暖めかた）

便座温度スイッチで便座の温度を調節します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますので、お好みの温度に設定してください。

※ スイッチを押すたびに「低」から「消灯」→「高」→「低」と表示ランプの点灯が切り替わります。
（表示ランプが消灯しているときは暖房便座「切」となります。）
※ 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。



⚠ 警告

●長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬等、眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕
※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

《基本機能の使いかた》

〈シャワートイレの場合〉

■おしり洗浄

1 おしりのパワフルまたはマイルドスイッチを押します。

局部周辺に付着した汚物を洗い流す機能です。ノズルの先端からシャワーが出て、おしりを洗います。

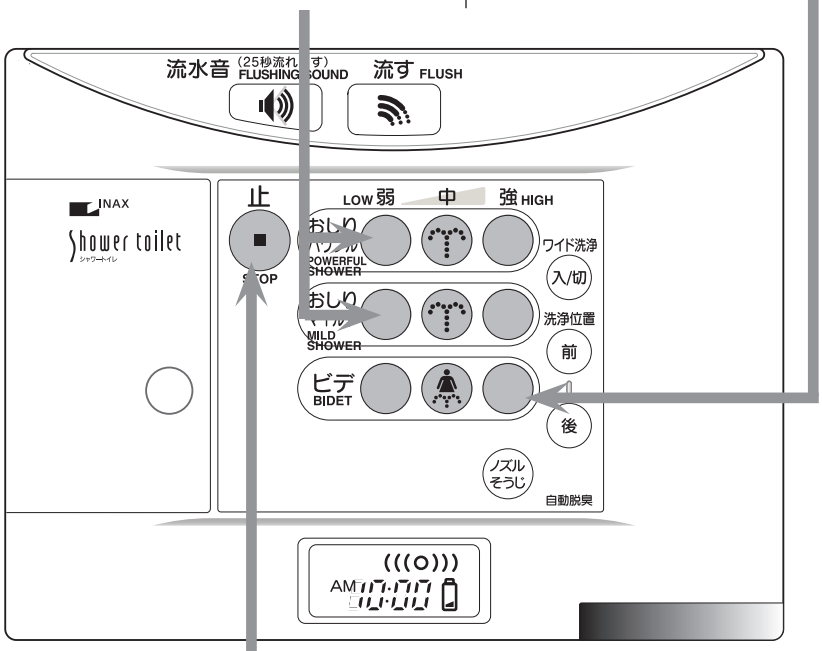
※ 力強く洗浄する**パワフル洗浄**と、たっぷりの湯量で優しく洗浄する**マイルド洗浄**の 2 種類があります。
※ 洗浄の強さは 3 段階に調節できます。

■ビデ洗浄

1 ビデスイッチを押します。

局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。ノズルの先端からシャワーが出て、女性のデリケートな部分を洗います。

※ 洗浄の強さは 3 段階に調節できます。



2 止めるときは止スイッチを押します。

※ おしりおよびビデ洗浄は、2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

※ **ノズルオートクリーニングについて**
おしり・ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

注意

- 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、ノズルが出ないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- 便座には、深く腰掛けてください。
  深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
  ※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

参考

- 洗浄強さを一番弱くしてもまだ強いと思われる方のために、シャワーを最も弱い設定より、さらに弱くする機能が付いています。(☞ 23 ページ)

〈シャワートイレの場合〉

■ワイド洗浄

1 ワイド洗浄スイッチを押します。

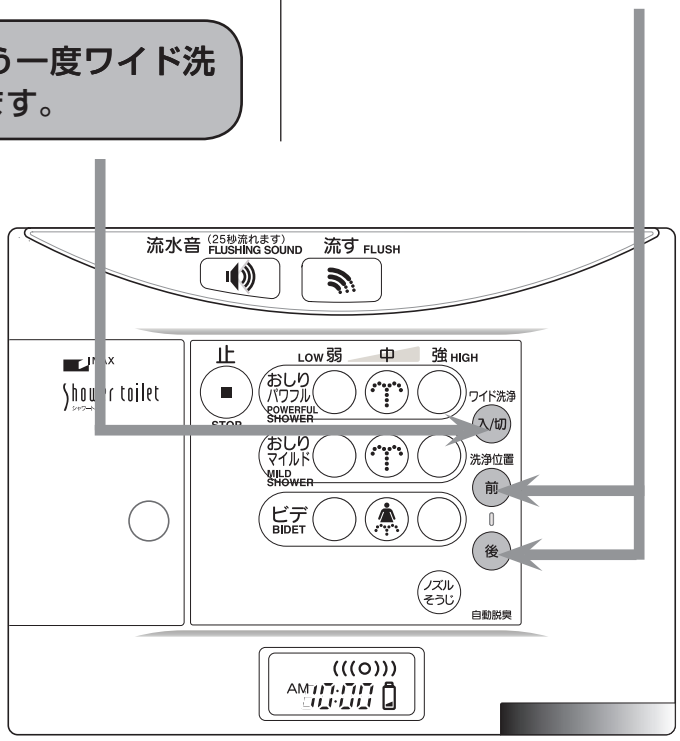
おしりまたはビデ洗浄中にノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

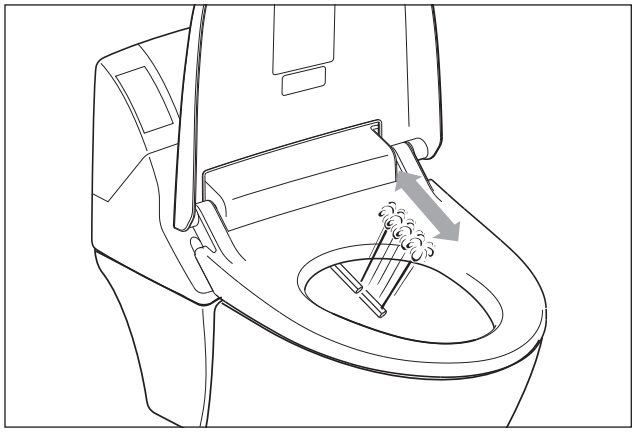
2 止めるときは、もう一度ワイド洗浄スイッチを押します。

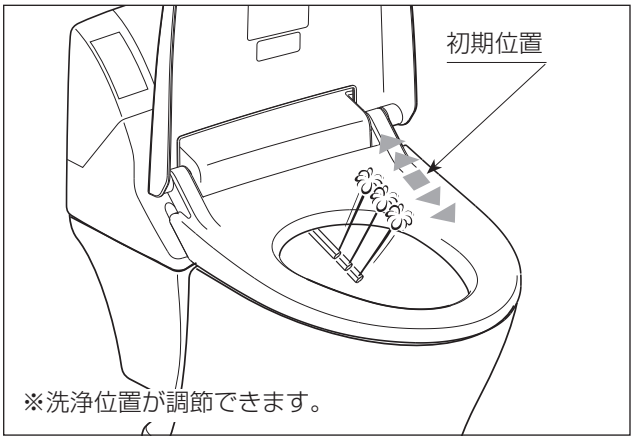
■洗浄位置の調節

洗浄位置の「前」または「後」スイッチを押します。

おしりまたはビデ洗浄中に洗浄位置を全５段階に調節することができます。







〈シャワートイレの場合〉

■脱臭

1 便座に座ると脱臭を始めます。

※ 着座時以外は、脱臭ファン能力を上げてより広い範囲のニオイを吸い込んで除去します。

2 便座から立ち上がると約 1 分後に停止します。

※ シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジがついています。(☞ 30 ページ)

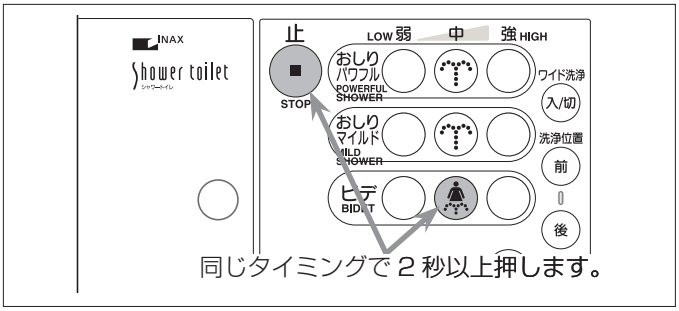
■脱臭を「切」にしたい場合に

●操作方法

止スイッチとビデ「中」スイッチを同じタイミングで 2 秒以上押します。(セット完了時、「ピッピッ」という音がなります。)

「切」にすると脱臭を行わなくなります。

その後、「入」にする場合も止スイッチとビデ「中」スイッチを同じタイミングで 2 秒以上押します。

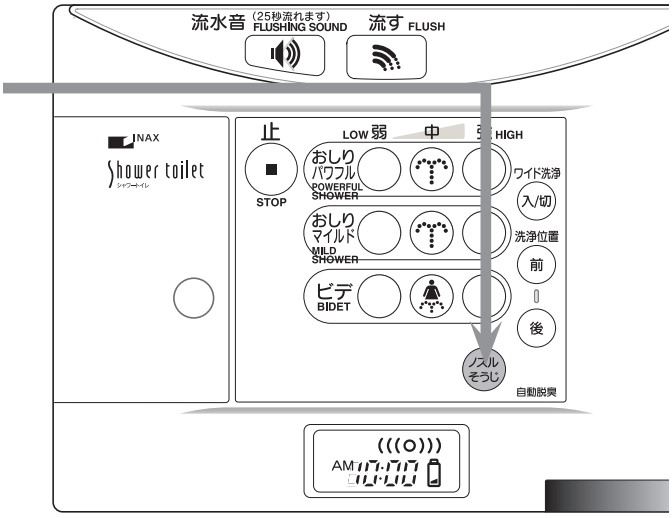


〈シャワートイレの場合〉

■スーパーノズルクリーニング

ノズルそうじスイッチを押します。

ノズルが本体に収納されたまま約５秒間洗浄します。このときノズルの奥から水が出て、ノズルを洗います。



※ このシャワートイレはおしり・ビデ洗浄前に、自動的にノズル周辺をぬらしておくことで汚れを付きにくくしています。

※ このシャワートイレはオートクリーニング機能付で、おしり・ビデ洗浄後、自動的にノズルやその周辺を幅広く洗います。

※ ノズルを引き出してご自分でも掃除できます。（☞ 27 ページ）

■スーパーノズルクリーニングを「切」にしたい場合に

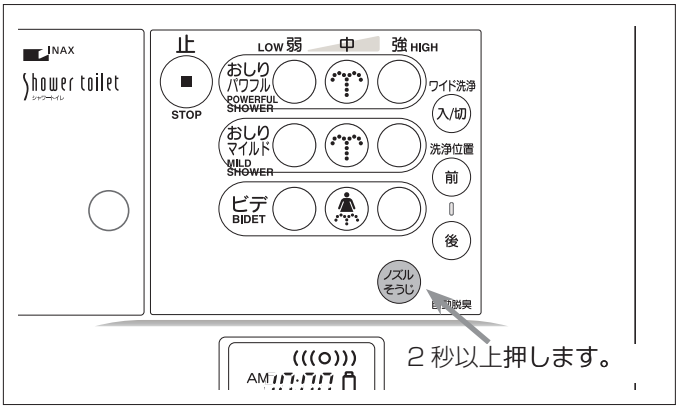
●操作方法

ノズルそうじスイッチを２秒以上押します。（セット完了時、「ピッピッ」という音がなります。）

「切」にするとおしり・ビデ洗浄前にノズル洗浄を行わなくなります。

その後、「入」にする場合もノズルそうじスイッチを２秒以上押します。

※ オートクリーニング機能は働きます。



■便器洗浄

便器洗浄には 3 通りの方法があります。
1. 便座から立ち上がると数秒後に自動で洗浄を行う **“フルオート便器洗浄”**。
2. リモコンの流すスイッチを押して便器洗浄を行う **“リモコン便器洗浄”**。
3. 点検口内の洗浄軸部を操作して行う **“手動洗浄”**。（停電時等に使用します。）

点検口フタは、キャップを外してプラスドライバーでねじを外すと、開けることができます。

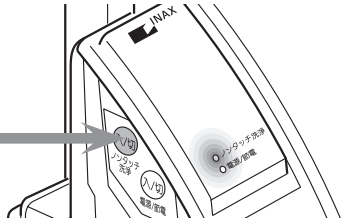
1. フルオート便器洗浄について

1 ノンタッチ洗浄スイッチを押します。

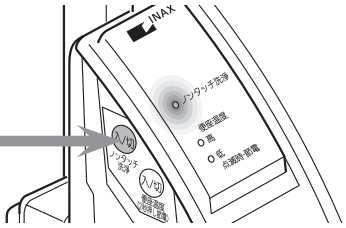
※ フルオート便器洗浄は座った時間を自動的に判別して「大洗浄」、「小洗浄」を行います。立って小用した場合はリモコンの流すスイッチを押してください。
※ 座る時間が 6 秒以上、50 秒未満の場合「小洗浄」を行います。
ただし、おしり洗浄を行った場合は 50 秒未満であっても「大洗浄」を行います。

2 止めるときは、もう一度ノンタッチ洗浄スイッチを押します。

シャワートイレの場合



暖房便座の場合



参考

フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後、自動的に便器洗浄を開始します。
この開始時間を、約 15 秒後に切り替えることができます。（☞ 23 ページ）

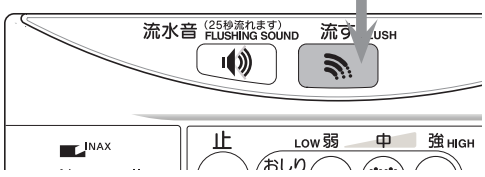
注意

- 停電した場合は「停電したときの便器洗浄のしかた」に従って便器内を洗浄してください。（☞ 26 ページ）
- 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、「小」で洗浄してしまうと紙が流れない場合がありますので、リモコンまたは手動洗浄にて再度洗浄してください。

2. リモコン便器洗浄のしかた

流すスイッチを押します。

シャワートイレの場合



暖房便座
壁リモコンの場合

暖房便座
埋込リモコンの場合

注意 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、「小」で使用されますと紙が流れない場合がありますので「大」の方でご使用ください。

3. 手動洗浄のしかた

注意 停電した場合は、「停電したときの便器洗浄のしかた」に従って便器内を洗浄してください。（☞ 26 ページ）

〈シャワートイレの場合〉

点検口フタは、キャップを外してプラスドライバーでねじを外すと、開けることができます。

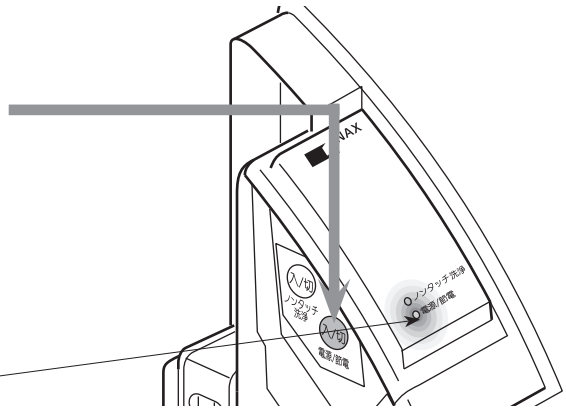
■節電（ステップ節電）

ステップ節電とは、トイレを使用しない時間の長さに応じて、温水と便座の温度を段階的に下げていき、長時間不在の場合は、便座と温水のヒーターを切にして消費電力を抑える節電方式です。

1 **電源 / 節電スイッチを 2 秒以上押します。**（表示ランプ点滅下記参照）

セットしてから 23 時間後、いったん設定温度に戻しますが、その 1 時間後、再び節電を開始します。

※ 節電が作動しているときは、電源 / 節電ランプが 0.5 秒間隔で 2 回づつ点滅します。



2 **途中で解除するときは、もう一度電源 / 節電スイッチを 2 秒以上押します。**（表示ランプ消灯）

※ 節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。
その際は節電を解除してください。

※ 便フタを閉じておくと節電に効果的です。

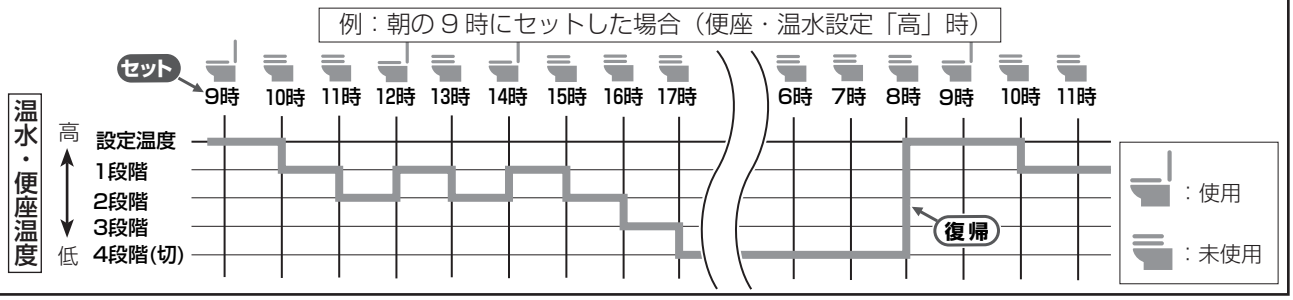
■ステップ節電の作動

●トイレを使用しない状態が 1 時間つづいたとき、温水と便座の温度を 1 段階下げ、さらに未使用が 1 時間つづくごとに 1 段階下げます。下げる段階は全部で 4 段階あり、4 段階目はヒーターを切にします。1 段階で下がる温度は、下表を参照してください。

	温水			便座	
初期設定	高	中	低	高	低
温度（℃）	40	38	36	36	28
1 段階目	38	38	36	36	28
2 段階目	36	36	36	32	28
3 段階目	34	34	34	28	28
4 段階目	切	切	切	切	切

●節電中にトイレを使用すると 1 回につき 1 段階、温水と便座の温度を上げます。

●ステップ節電は、一度セットすると解除するまで節電をつづけますが、セットした時間の 1 時間前になると、いったん温水と便座を設定温度まで復帰させます。朝等、日頃習慣的に使用する時間にセットすると便利です。



〈暖房便座の場合〉

点検口フタは、キャップを外してプラスドライバーでねじを外すと、開けることができます。

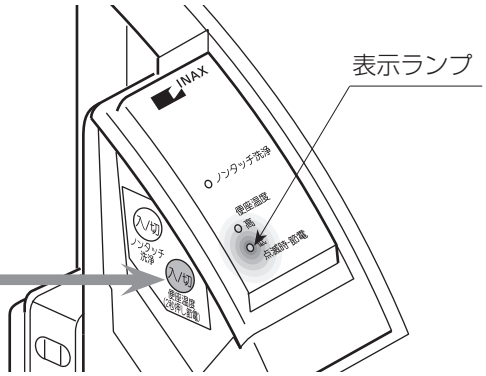
■節電（ステップ節電）

ステップ節電とは、トイレを使用しない時間の長さに応じて、便座の温度を段階的に下げていき、長時間不在の場合は、便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電方式です。

※ ステップ節電の作動については前ページをご覧ください。

1 **便座温度スイッチを 2 秒以上押します。（表示ランプ点滅）**

セットしてから 23 時間後、いったん設定温度に戻しますが、その 1 時間後、再び節電を開始します。



2 **途中で解除するときは、もう一度便座温度スイッチを 2 秒以上押します。**
（表示ランプ消灯）

※ 節電時は便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。
その際は節電を解除してください。

〈シャワートイレの場合〉

■流水音〈擬音装置付の場合〉

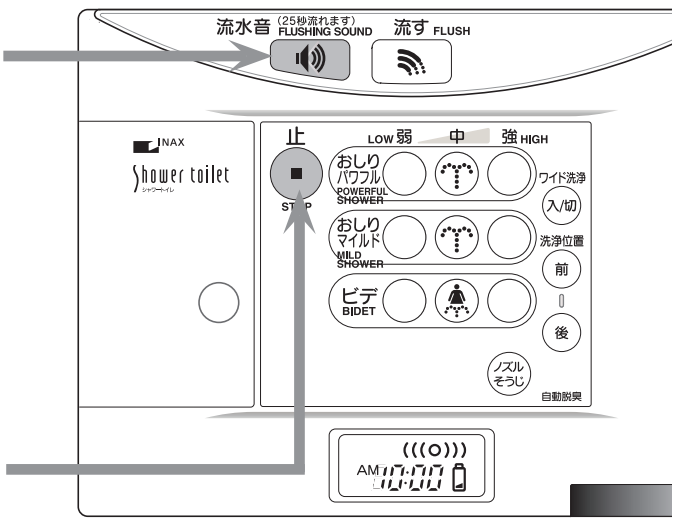
1 **流水音スイッチを押します。**

流水音が 25 秒間流れます。

※ 流水音を延長したいときは、流水音が流れているときに再度流水音スイッチを押します。

※ 流水音の音量が小さいまたは大きいと感じられる場合は、34 ページをご覧になって音量を調節してください。

2 **止めるときは、止スイッチを押します。**



〈シャワートイレ・プラズマクラスター付の場合〉

■プラズマクラスター

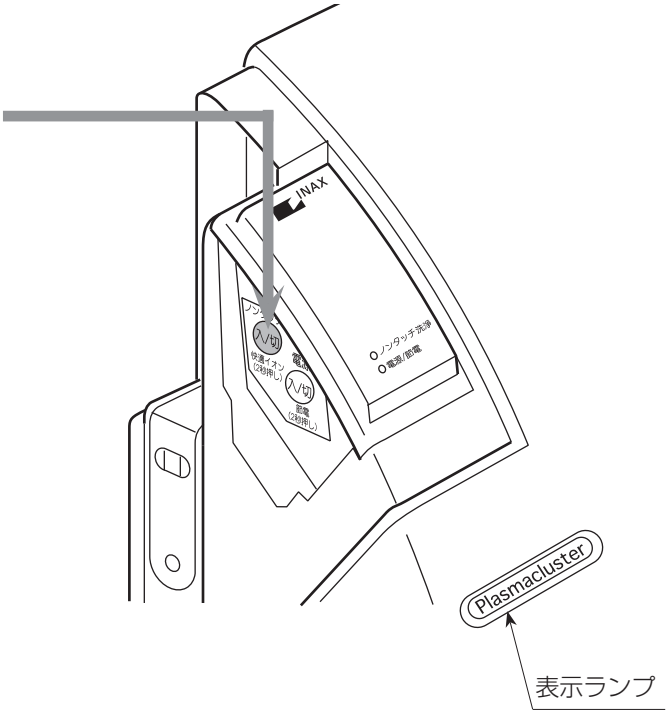
プラズマクラスターには、プラスイオンとマイナスイオンをバランス良く放出して臭いやカビ菌等を抑制するクリーンモードと、マイナスイオンを多く放出して心身をリフレッシュさせるリフレッシュモードがあります。
クリーンモードとリフレッシュモードは人体検知センサーと着座センサーで人を検知して自動で切り替わります。

1 ノンタッチ洗浄スイッチを２秒以上押します。（表示ランプ点灯）

吹出口からイオンを放出して自動運転を開始します。

※ 人を検知しているときは自動的にリフレッシュモードになり、表示ランプは緑色に点灯します。
人を検知していないときはクリーンモードに切り替わり、表示ランプは青色に点灯します。

※ スイッチを押してから 1 時間はクリーンモードが連続運転して空気を浄化し、その後、断続運転に切り替わります。



2 止めるとき、または使用しないときは、もう一度ノンタッチ洗浄スイッチを２秒以上押します。（表示ランプ消灯）

※ プラズマクラスター動作時には「チッチッチッ…」という音がします。気になる場合は、ノンタッチ洗浄スイッチを２秒以上押し、「切」にしてください。

※ イオン発生器で発生するオゾンの臭いがすることがありますが、濃度はごくわずかで、健康上問題ありません。

■より快適な機能

フルオート便器洗浄開始時間について

フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約６秒後、自動的に便器洗浄を開始する機能です。
この開始時間を、約 15 秒後に切り替えることができます。お好みに合わせて下記の要領で切り替えてください。

■洗浄開始時間の切替方法

〈シャワートイレの場合〉

●止スイッチとノズルそうじスイッチを同じタイミングで２秒以上押します。（セット完了時、「ピッピッ」という音がなります。）

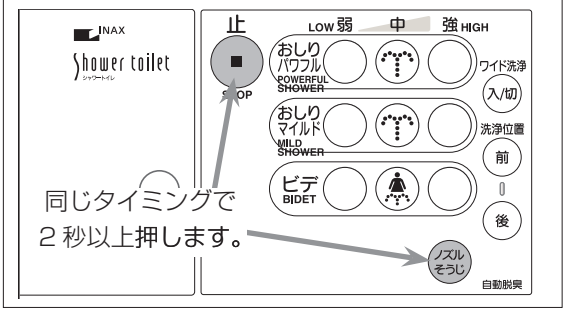
●元に戻すのも同じ方法で行います。

〈暖房便座の場合〉

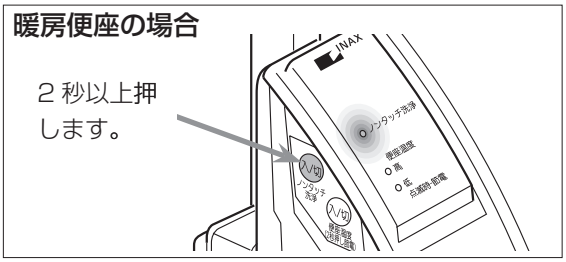
●ノンタッチ洗浄スイッチを２秒以上押します。
（セット完了時、「ピッピッ」という音がなります。）

●元に戻すのも同じ方法で行います。

シャワートイレの場合



暖房便座の場合



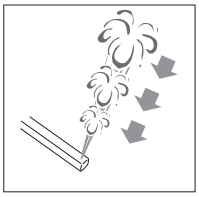
洗浄強さをさらに弱くしたい方のために〈シャワートイレの場合〉

おしり洗浄・ビデ洗浄を「弱」にしてもまだ強いと思われる方は下記のように調節してください。

■セットおよび解除方法

●止スイッチとビデスイッチの「弱」を同じタイミングで２秒以上押します。「ピッピッ」という音がして最弱になります。
弱くする設定はさらに４段階ありますのでお好みの強さに調節してください。

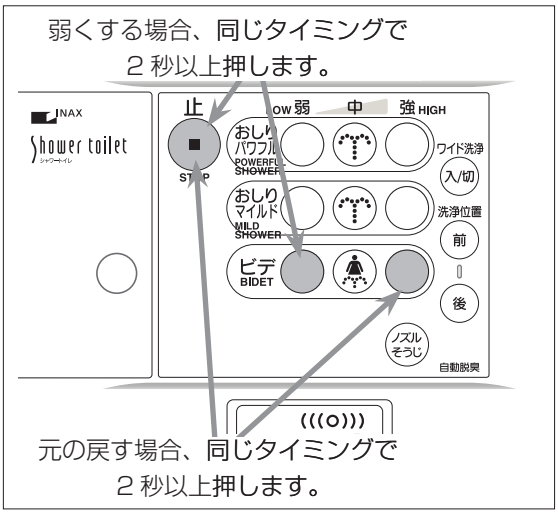
※ 水圧の低い所では、最弱の設定にするとノズルが出なくなる恐れがありますのでご注意ください。



押すたびに洗浄強さが１段階ずつ弱くなります。

※ 次ページの「洗浄強さの設定変更のしかた」で設定③を選んだ場合、この機能を使用することができません。

●元に戻す場合は、止スイッチとビデスイッチの「強」を同じタイミングで２秒以上押します。
「ピッピッ」という音がして、１段づつに戻ります。



《知っておいていただきたいこと》

シャワーの温度について

●おしりまたはビデ洗浄を長時間使用しますとシャワーの温度がしだいに低下し、そのままさらに使用すると最後には水になります。
冬期には冷水（約 5℃）から**高**（約 40℃）になるまでに約 10 分間かかります。

●シャワーの温度は、スイッチの位置に合わせて一定の温度に調節しています。
温水タンク内制御温度
低 : 約 36℃、中 : 約 38℃、高 : 約 40℃。

ノズルの付近から出る水は？

便座に座った直後や洗浄の前後、温水スイッチを入れたとき等、ノズル付近から水が出ますが、これは構造上必要なもので、故障ではありません。

※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または INAX メンテナンスへご連絡ください。
（電源プラグがない機種は、本体の点検口フタ内の電源スイッチでシャワートイレ本体の電源を切ってください。）

省エネについて

省エネのためには、以下の項目が有効です。

●使用後は便フタを閉じておきましょう。

●便座や温水の設定はむやみに高温にせず、快適さを損なわない程度に調節しましょう。

●春夏秋冬、気温に合わせてこまめに温度設定を行いましょう。

●節電機能のあるものはできるだけ利用しましょう。

●長時間の外出時等、不在時はこまめに電源を切っておきましょう。

※ 凍結破損の恐れがある場合は凍結防止方法を実施してください。（☞ 37 ページ）

洗浄ハンドルがありません。

この便器には洗浄ハンドルが付いていません。
便器洗浄を行うには、ノンタッチ洗浄を設定しておくか、リモコンの流すスイッチを押して便器自動洗浄させてください。（☞ 19 ページ）

洗浄強さが最弱ではノズルが出ない、と思ったら。

このシャワートイレは、水道圧によってノズルを押し出し、シャワーを噴出する構造となっています。
水道圧が低いところでは、洗浄強さが最弱付近にあると、シャワーが出ないことがあります。
このようなときは、洗浄強さを「強」にしてください。（☞ 15 ページ）

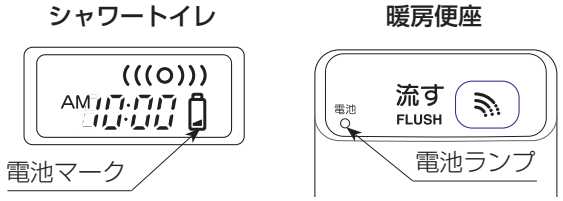
着座センサーが付いています。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。したがって便座に座らないとおしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭の各機能がはたらきません。

※ 便座に座っているときに停電し、そのままの状態で停電が直った場合、おしり洗浄等の操作ができない場合があります。こんなときはいったん便座から立ち上がり、1 ～ 2 秒たってから再度座ってください。

リモコンについて

●リモコンの電池マーク点滅は、電池消耗をお知らせするサインです。
お早めに新しい電池に交換してください。
（電池交換は☞ 33 ページ）



ゆっくり閉じる便座・便フタ。

便座・便フタには、あやまって閉じたとき等の衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるようにスローダウン機構が装備されています。

※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

便器洗浄について

ご使用方法のシールが同梱されているので、リモコン付近に張り付けてください。

集中制御に対応しています。

集中制御対応しているので、ビル全体で電源を切り、再度電源を入れた場合でも、元の設定のままで使用できます。

トイレ用洗剤について

お手入れには、**塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤**を使用しないでください。

- プラスチック部に使用すると、割れて**事故の原因**になります。「安全上の注意」（7 ページ）参照
- 便器（陶器部）に使用すると気化したガスによりシャワートイレの機能が**故障する原因**になります。

ラジオやテレビに雑音が入ったら。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。
このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

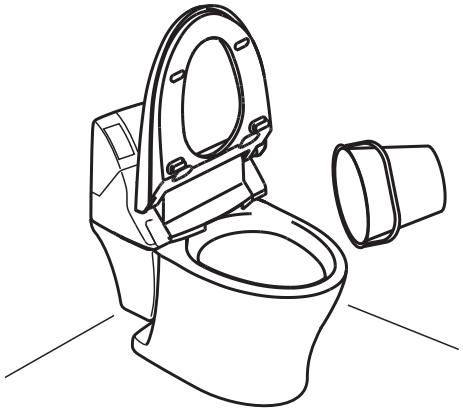
結 露 に つ い て

室温と便器・本体・止水栓の表面温度差や湿度により、便器・本体の表面に水滴が生じることがあります（結露）。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露水が生じた場合は、乾いた布でふきとってください。

※ 結露水は床のしみや破損の原因になります。
※ 本便器は結露しにくい構造になっていますが、室温等の条件により結露する場合があります。

断水したときの便器洗浄のしかた

バケツ 1 杯（5 ～ 6 L）の水を、水とびに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。
※うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く（短時間に一気に）して、再度行ってください。
最後に、便器内の水位が通常の高さになるように 3 ～ 4 L の水を注いでください。
（小洗浄も同じように流してください。）



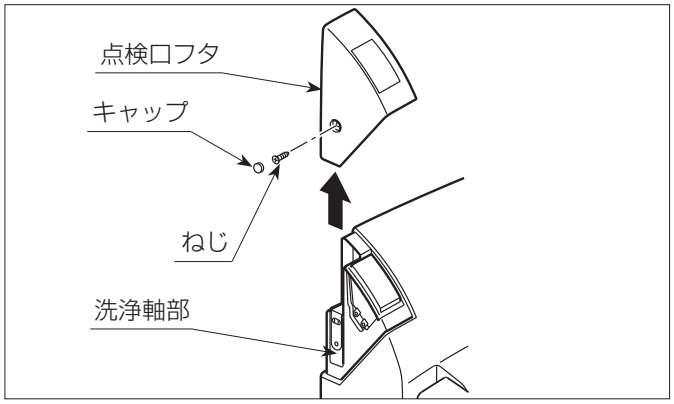
注意

- バケツで水を運ぶとき、便器へ水を流すとき等、床に水がこぼれないように十分に気をつけてください。
- コンセント部分に水がかからないようにご注意ください。

停電したときの便器洗浄のしかた

停電したときには、リモコンで便器内洗浄が行えません。
以下の要領で洗浄してください。

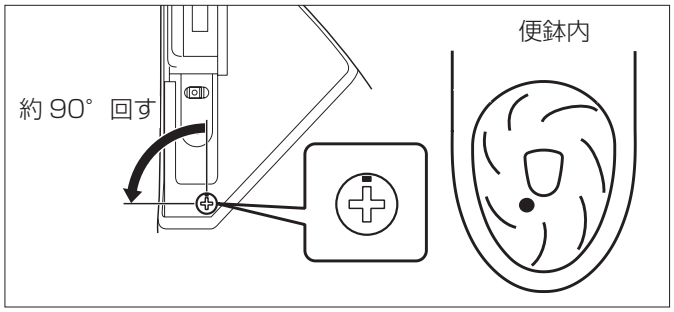
1. 点検口フタのキャップとねじ 1 本を外し、持ち上げるようにして点検口フタを外します。



2. 点検口の洗浄軸部を反時計回りに約 90゜回し保持します。
   便鉢周りから水が流れて、汚物を便鉢底へ洗落とします。

   注意

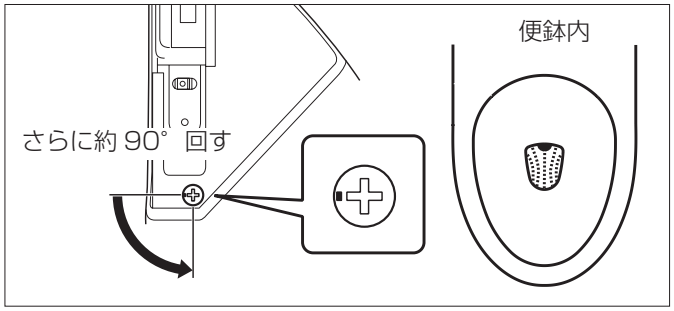
   逆に回さないでください。
   破損します。



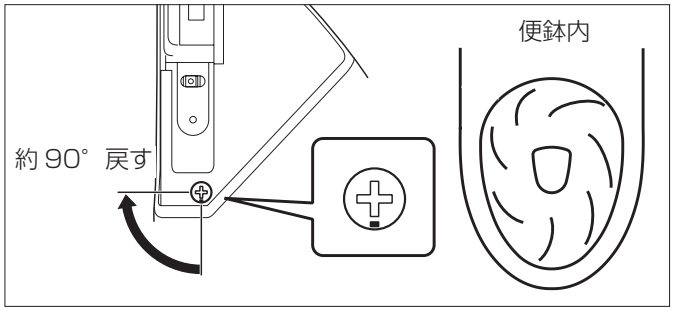
3. 汚物が底に落ちたら、さらに約 90゜回し保持します。
   便鉢底から水が流れて、汚物を排出します。

   注意

   逆に回さないでください。
   破損します。

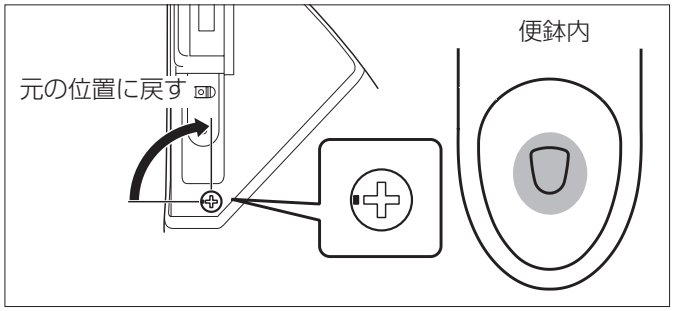


4. 洗浄軸部を約 90゜戻し保持します。
   便鉢周りから水が流れて、便鉢底に水が溜まります。



5. 便鉢底に水が溜まったら、元の位置に戻します。
   水が止まります。
   ※ 洗浄後は必ずハンドルを元の位置に戻してください。（水が流れっ放しになります）

6. 点検口フタを取付け、ねじで固定します。



お手入れ方法

《日頃のお手入れ》

注意

お手入れをするときは、必ず電源スイッチを押して（または漏電遮断器を「切」にして）、本体表示部の電源ランプが消灯していることを確認してください。

便座や便フタ・カバー類（プラスチック部）のおそうじのしかた

●柔らかい布で水ぶきをしてください。

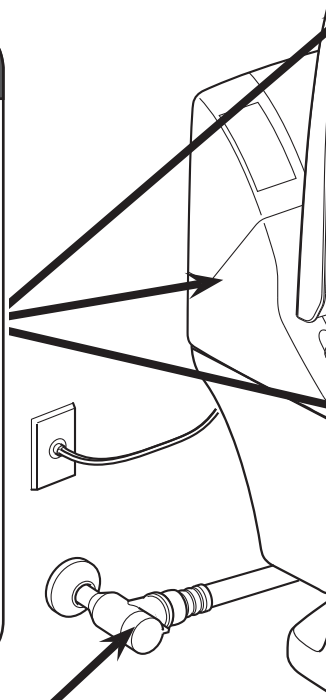
汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、固くしぼった柔らかい布でこまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

●お手入れには当社純正のトイレ用おそうじティッシュまたはシャワートイレお掃除クリーナー（別売品）をおすすめします。

市販の便座用洗剤等も使用できますが、中には適さない商品があります。ご不明な点は洗剤メーカーに確認してから使用してください。
別売品の購入方法については 50 ページをご覧ください。

※ このシャワートイレは、便フタが簡単に外せます。（☞ 29 ページ）

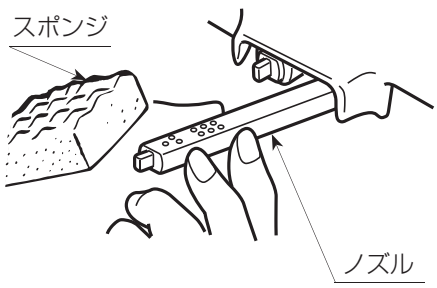
注意 **乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。**
※ キズつきの原因になります。



止水栓等（メッキ部）のおそうじのしかた

止水栓等のメッキ金具は、ミシン油やカーワックス等をしみこませた布でふくと、美しい輝きを保てます。

ノズルのおそうじのしかた〈シャワートイレの場合〉



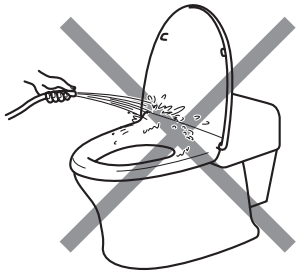
ノズルを引き出し、スポンジ等で掃除してください。

※ ノズルを無理に引張ったり、曲げたりしないでください。

⚠ 警告

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。

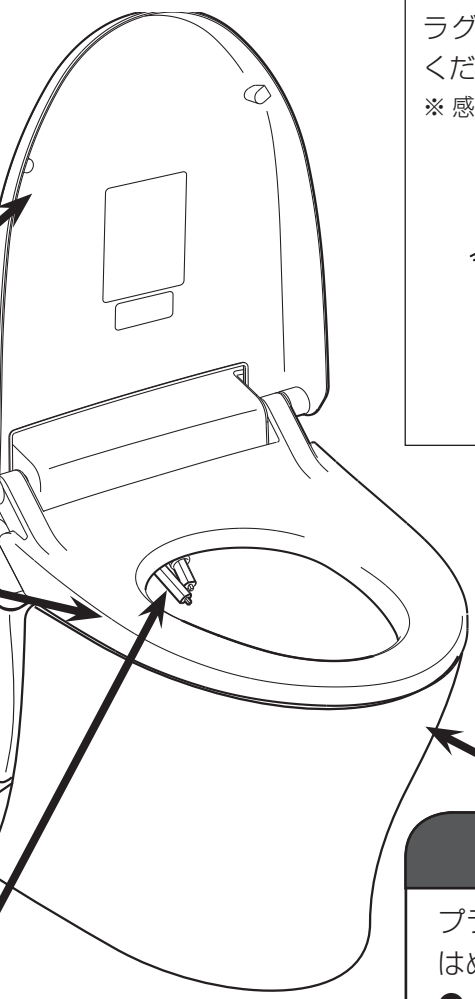


⚠ 注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。

※プラスチック部が割れてケガの原因になります。

※感電・火災の原因になります。



便器（陶器部）のおそうじのしかた

プラスチック製の柔らかいブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。

- **熱湯はお使いにならないでください。**
  便器が破損することがあります。
- **けんま剤入りの洗剤やブラシを使用しないでください。**
  プロガードの効果が早くなくなります。〈プロガード仕様の場合〉

注意 **便器のお手入れに塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤は、使用しないでください。**

※ 気化したガスにより、故障・破損の原因になります。

抗菌部位について

ノズル・便座・便フタ・本体カバー・下カバーに抗菌プラスチックを、リモコンのスイッチパネルには抗菌シートを、便器には抗菌便器を採用しています。

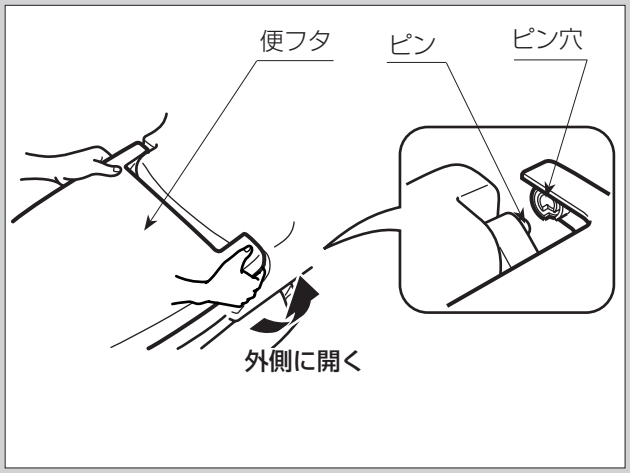
KILAMIC 抗菌商品について

- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。
  KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会（SIAA）の推進によって抗菌 JIS 規格（JISZ2801）から ISO 規格（ISO22196）になりました。

《便フタの外しかた（便フタまわりの隠れた部分のおそうじ）》

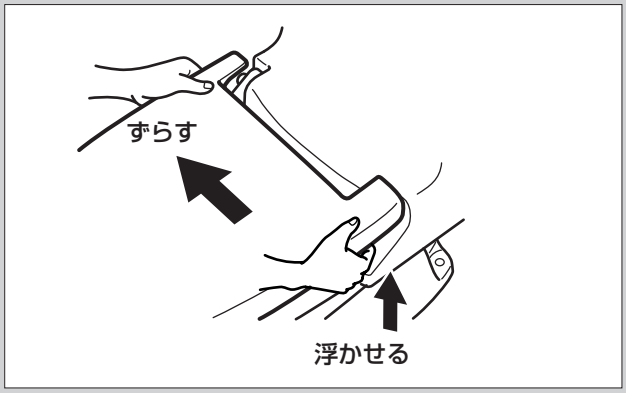
便フタの外しかた

1. 便フタ右側のピン穴を外側に開いて、ピンから外します。



2. 便フタを浮かせながら左側にずらし、便フタを外します。

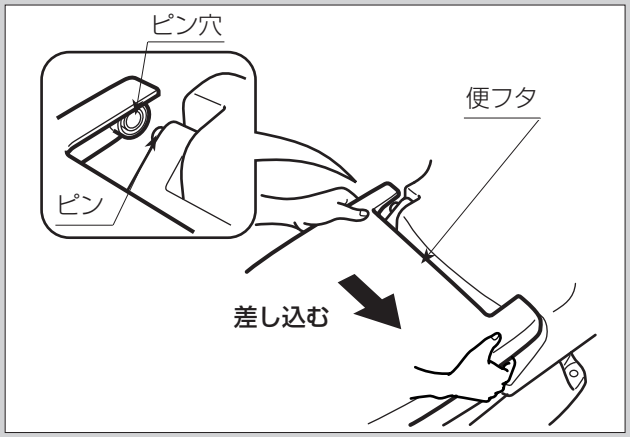
注意 強引に外そうとすると割れる等、**破損の原因となります。**



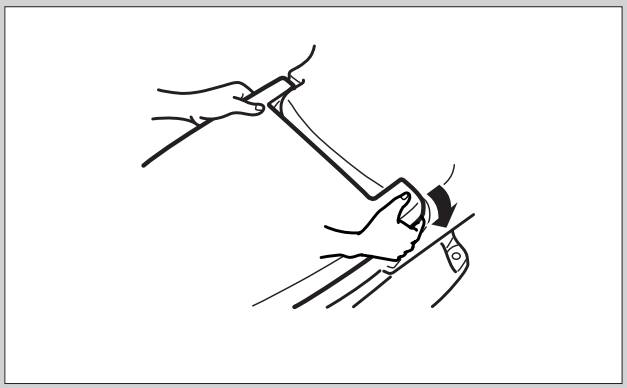
注意 **便フタを外したまま使用しないでください。**
※便フタを閉じた状態で外し、使用した場合は、おしり洗浄、ビデ洗浄の各機能が作動しません。

便フタの組み付けかた

1. 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込みます。



2. 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付けます。



お手入れのあとは、電源スイッチを押して（または漏電遮断器を「入」にして）表示部の電源ランプが点灯することを確認してください。

《脱臭効果が弱くなった場合〈シャワートイレの場合〉》

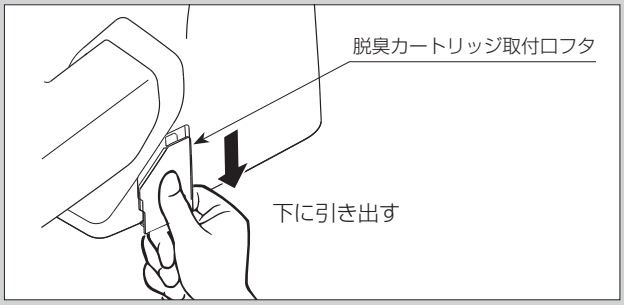
脱臭カートリッジにホコリ等が付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、お手入れしてください。

脱臭カートリッジのお手入れ方法

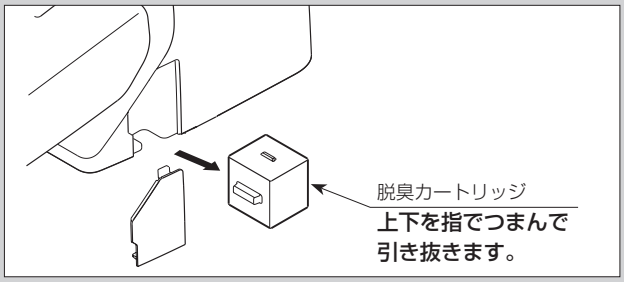
1. 電源プラグをコンセントから抜きます。

※電源プラグがない機種の場合は、本体の点検口フタ内の電源スイッチでシャワートイレ本体の電源を切ります。（☞ 13 ページ）

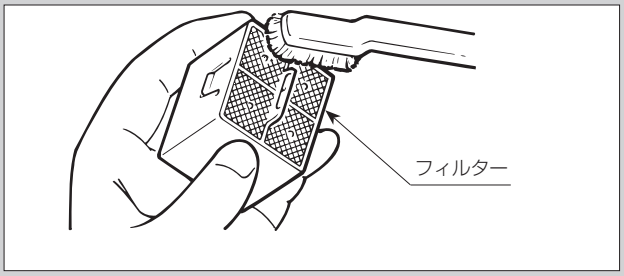
2. 脱臭カートリッジ取付口のフタを外します。



3. 脱臭カートリッジを引き抜きます。



4. フィルターのホコリ等を歯ブラシ等で取り除きます。



注意 **脱臭カートリッジ本体は水洗いできませんのでご注意ください。**

5. 脱臭カートリッジを取付口に差し込み、フタを取り付けます。

6. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

※電源プラグがない機種の場合は、本体の点検口フタ内の電源スイッチでシャワートイレ本体の電源を入れます。（☞ 13 ページ）

7. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞ 11、12 ページ）

■脱臭カートリッジのお取替えについて

清掃してもまだニオイが気になる場合、脱臭カートリッジの寿命ですので、新品と交換してください。
脱臭カートリッジの寿命は、通常使用で約 4 年です。

まずシャワートイレ使用開始日を右の日付記入欄に記入し、脱臭カートリッジ交換の目安としてください。
次回脱臭カートリッジを交換する場合は、脱臭カートリッジにある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。

年　　月　　日

※ お取替用の脱臭カートリッジのお求めは、50 ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。

⚠ 注意

脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れないでください。
※ ケガの原因になります。

禁止

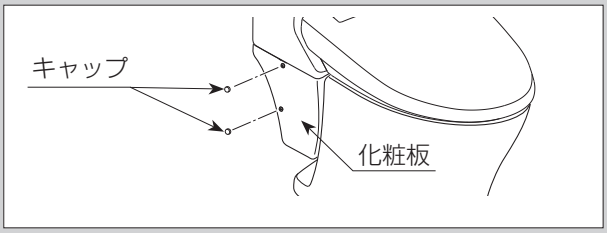
《化粧板の外しかた（便器後方・隠れた床のおそうじ）》

便器後方や隠れた床等を掃除するときに外してください。

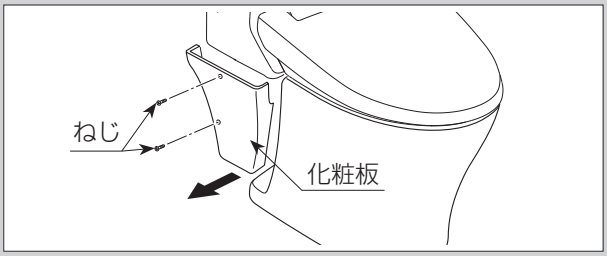
ねじ２つ止めの化粧板の外しかた・取付けかた

■化粧板の取り外しかた

1. 本体側面のキャップを外します。

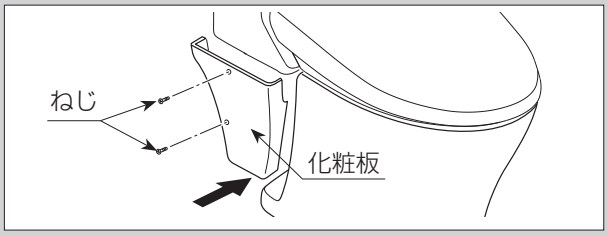


2. ねじを外し、化粧板をゆっくり外します。

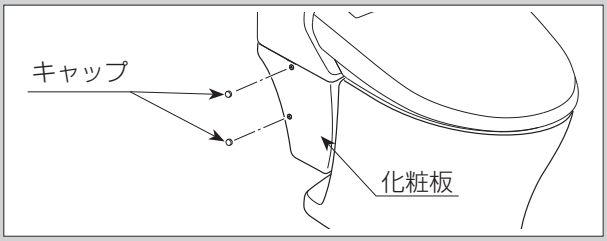


■化粧板の取り付けかた

1. 本体側面に化粧板を取付け、ねじで固定します。



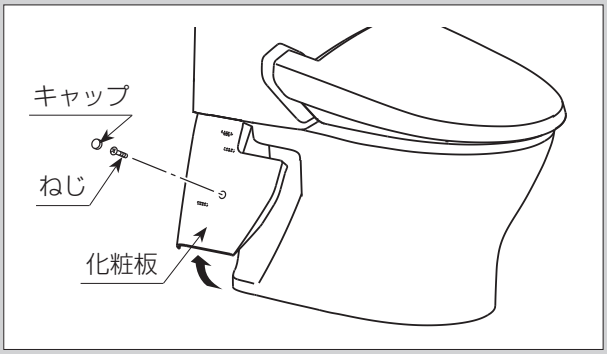
2. キャップをかぶせます。



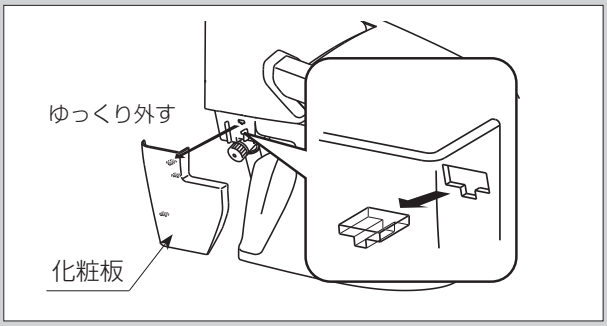
ねじ１つ止めの化粧板の外しかた・取付けかた

■化粧板の取り外しかた

1. 本体側面のキャップ、ねじを外します。

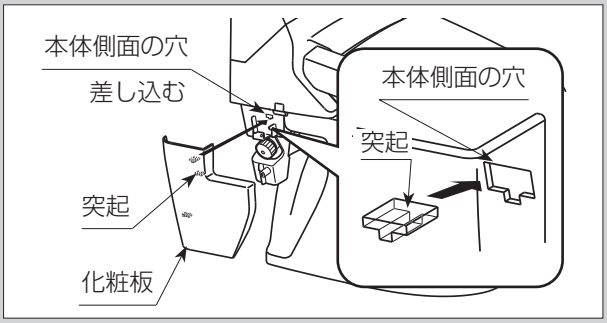


2. 化粧板をゆっくり外します。

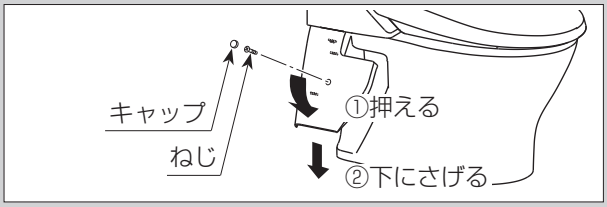


■化粧板の組み付けかた

1. 本体側面にある穴に、化粧板の突起を差し込みます。



2. 化粧板の下側を押え、下にさげて本体にしっかりと固定します。化粧板にねじを取付け、キャップをかぶせます。

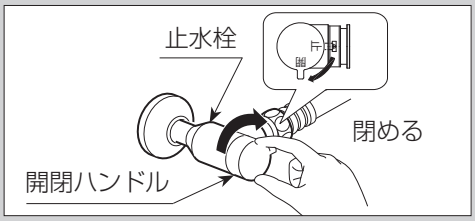


《便器洗浄が弱くなってきたなと思ったら》
《シャワーが弱くなってきたなと思ったら》

長期間使用して便器洗浄が弱くなりはじめたり、シャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては 2 年に 1 回程度です。）

ストレーナーの掃除方法

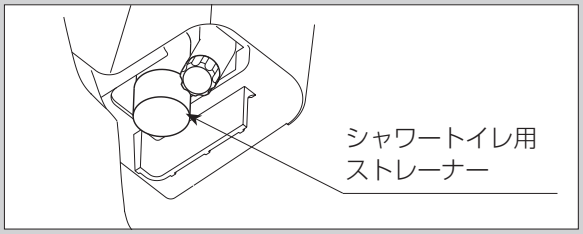
1. 止水栓の開閉ハンドルを閉めて、給水を止めます。



■シャワーが弱くなってきた場合
〈シャワートイレの場合〉

2. 本体右下のストレーナーを回して外します。

※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。

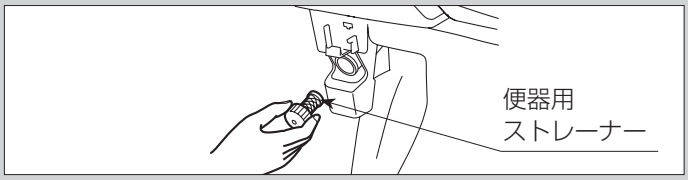


3. ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。
4. ストレーナーを確実に取り付けます。
5. 止水栓を全開にします。

■便器洗浄が弱くなってきた場合

2. 流すスイッチを押します。
3. 化粧板をゆっくり外します。（☞ 31 ページ）
4. 便器用ストレーナーを回して外します。

※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。



5. ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。
6. ストレーナーを確実に取付け、化粧板を取り付けます。（☞ 31 ページ）
7. 止水栓を全開にして、便器内洗浄を行います。

6. 最後に必ず試運転を行ってください。（☞ 11、12 ページ）

⚠ 注意

- ●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
- ●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認してください。

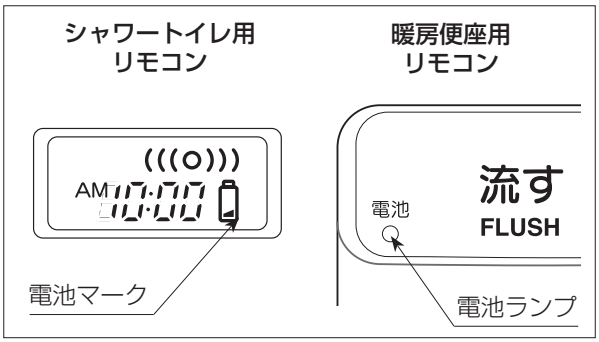
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

《リモコンの電池交換》

電池の寿命が近づくと、電池マークまたは電池ランプが点滅します。

※ 通常は消灯しています。
※ 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、一般に市販されている電池に比べ寿命が短い場合があります。
※ リモコンが受光部と反対側の壁に設置してある場合、電池マーク（ランプ）が点滅する前に使用できなくなる場合があります。

下記の要領で新しい電池に取り替えてください。

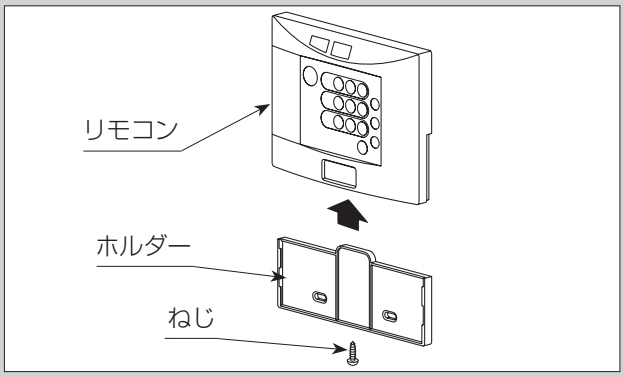


注意

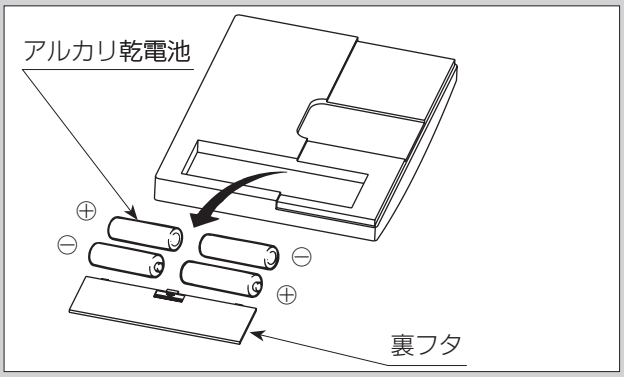
- **電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。**
- **新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。**
- **アルカリ乾電池を使用してください。**

リモコン電池の取替方法〈シャワートイレの場合〉

1. ホルダーの下からねじを外し、リモコンを持ち上げて外します。



2. 裏フタを外し、新しい乾電池（1.5V アルカリ単三、４本）に取り替えます。

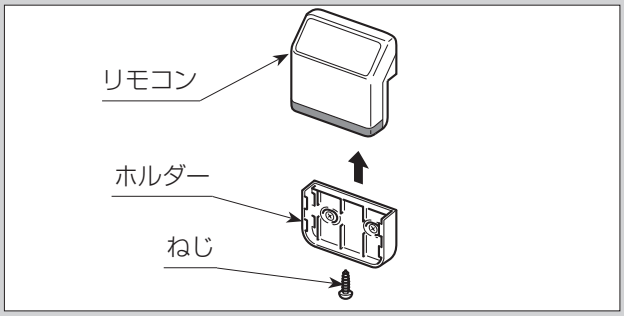


3. 裏フタを元通りにはめ、リモコンをホルダーに上から差し込み、ねじで固定します。

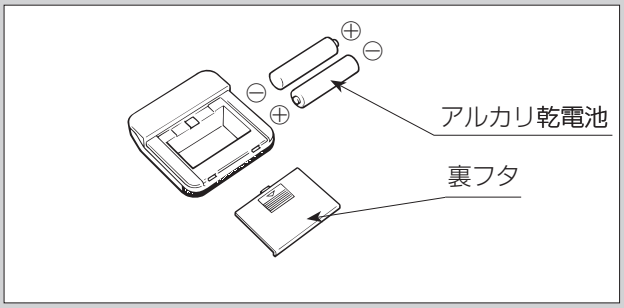
4. 時刻合わせ「時」「分」スイッチを押して時刻を合わせます。

リモコン電池の取替方法〈暖房便座の場合〉

1. ホルダーの下からねじを外し、リモコンを持ち上げて外します。



2. 裏フタを外し、新しい乾電池（1.5V アルカリ単三、２本）に取り替えます。



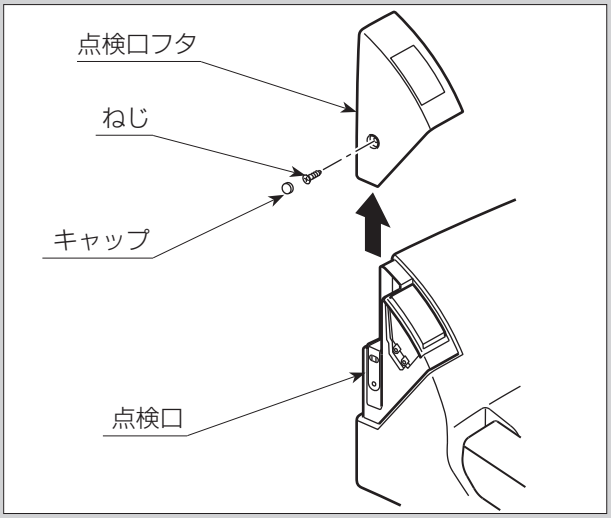
3. 裏フタを元通りにはめ、リモコンをホルダーに上から差し込み、ねじで固定します。

《流水音が小さいまたは大きいと思ったら〈擬音装置付の場合〉》

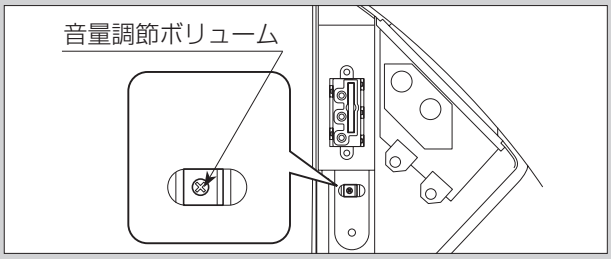
流水音の音量が小さい、または大きいと感じられたら、以下の要領で調節してください。

流水音の音量調節方法

1. 点検口フタのキャップ、ねじを外し、持ち上げるようにして点検口フタを外します。



2. 小型のプラスドライバーを使い、点検口中央にある音量調節ボリュームを回して調節します。
   音を大きくする場合：時計回りに回します。
   音を小さくする場合：反時計回りに回します。



注意

音量調節ボリュームを強く押したり、回しすぎないでください。
※ 故障の原因になります。

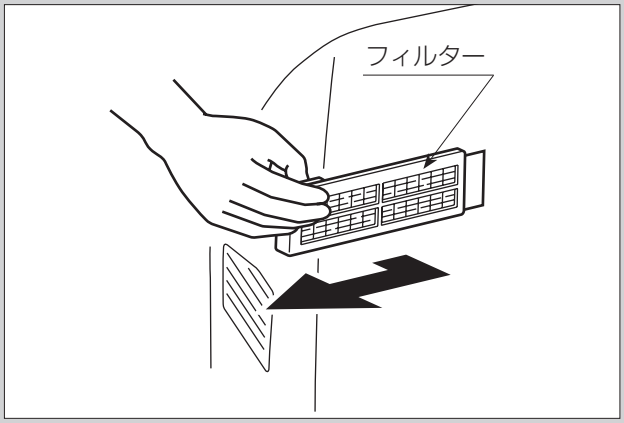
3. 点検口フタを上からはめて、ねじとキャップを取り付けます。

《フィルターのおそうじ〈プラズマクラスター付の場合〉》

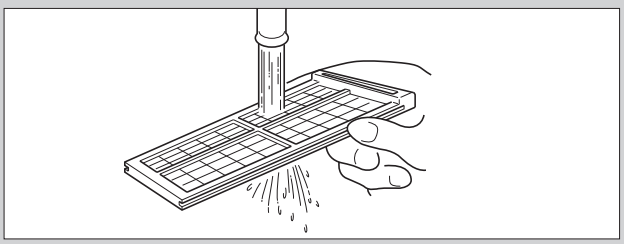
空気取入口のフィルターがホコリ等で詰まると能力が低下します。使用期間中は 1 ヶ月に 1 回程度掃除をしてください。

フィルターの掃除方法

1. フィルターを本体背部の吹出口から取り外します。



2. フィルターを水洗いしてホコリ等を取り除きます。清掃後、乾燥させてからフィルターを空気取入口に取り付けます。



注意

フィルターを外したまま、使用しないでください。
※故障の原因となります。

《定期的な点検のお願い》

■負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検の目安は、
取付けの日から 6 年後です。

有料となりますが、定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。
負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検は、INAX メンテナンスまでご依頼ください。

INAXメンテナンス　修理受付センター
TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56
受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

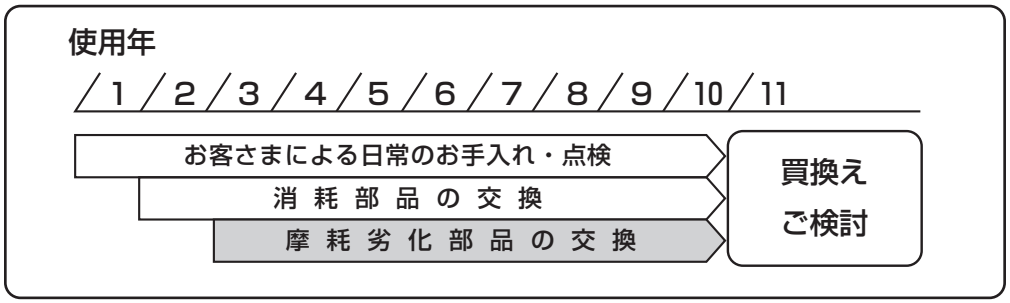
INAX メンテナンスにご依頼した場合、点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

■定期的な部品交換のお願い

摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例
  例）止水弁、温水タンク、洗浄ノズル、便座、便フタ、スローダウン、電動開閉ユニット、温風ファン、脱臭ファン、部屋暖房ファン等
- 部品の交換については、お求めの取扱店または INAX メンテナンスにご依頼ください。
  製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

〈定期的な点検・部品交換の目安〉

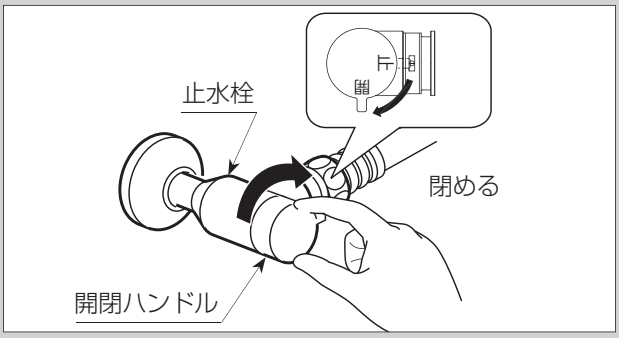


長期間使用しない場合

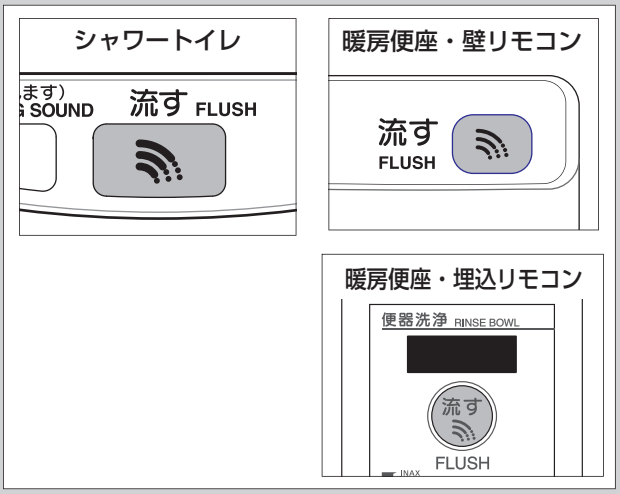
以下の場合は水抜きを必ず行い、止水栓を閉め、電源を抜いてください。
●旅行等で長い間、シャワートイレを使用しないとき。（水が汚れて詰まりの原因になります。）
●別荘等で使用しないとき。（人のいない家では予想以上に温度が下がり、凍結する恐れがあります。）

水抜きおよび電源の取外し

1. 止水栓の開閉ハンドルを閉めて、給水を止めます。



2. 流すスイッチを押して、便器洗浄します。



3. 便器用ストレーナーを開けて、止水栓内の水を抜きます。（☞ 32 ページ）

4. シャワートイレの場合はさらに、本体右下のストレーナーと温水タンク水抜栓の下に洗面器を置き、ストレーナーと温水タンク水抜栓を外して、温水タンクから水を抜きます。
   ストレーナー部やＯリング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。

5. 温水タンク水抜栓と各ストレーナーをしっかり締め付けます。

6. 漏電遮断器を「切」にします。

7. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞ 11、12 ページ）

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
※給水ホースが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがＯリングに付着していないことを確認してください。
※Ｏリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

指示実行

冬期凍結の恐れがある場合

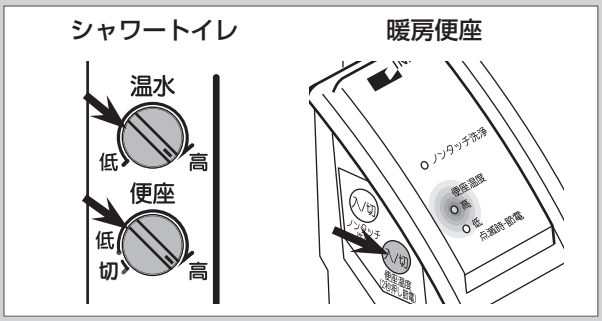
冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。

電源は入れておいてください。また、節電機能は解除してください。

一般的な凍結防止方法

1. **便座スイッチを「高」、シャワートイレの場合は温水スイッチも「高」にして便フタを閉じます。**
   節電を行っている場合は、節電を解除します。

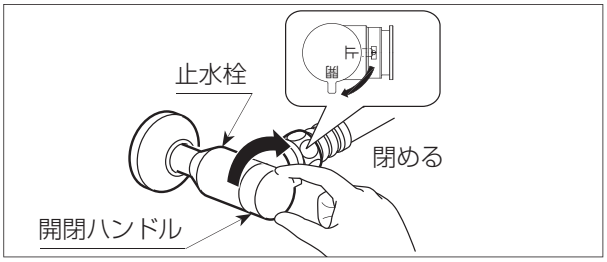
2. **室内を暖房します。**
   節電を行っている場合は、節電を解除します。



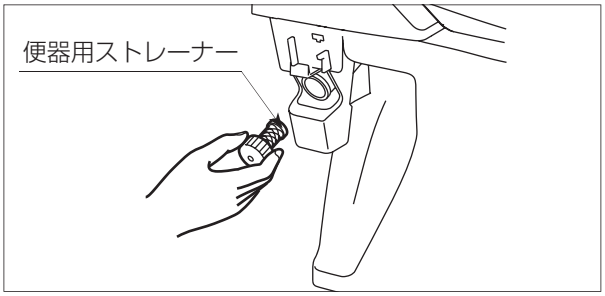
※もし室内が暖房できない場合は、以下の手順で本体内から水を抜いてください。

3. **本体内から水を抜きます。（室内が暖房できない場合）**

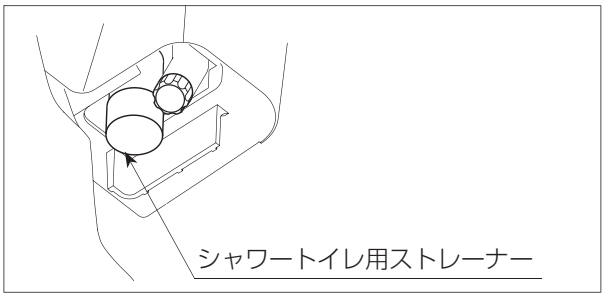
   （1）止水栓の開閉ハンドルを閉めて、給水を止めます。



   （2）流すスイッチを押して便器洗浄します。
   （3）便器用ストレーナーを開けて、止水栓内の水を抜きます。（☞ 32 ページ）



   （4）シャワートイレの場合は、本体右下のストレーナーの下に洗面器を置き、ストレーナーを外して、本体内から水を抜きます。
   ストレーナー部やＯリング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。
   （5）ストレーナーを確実に閉めます。



4. **再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞ 11、12 ページ）**

⚠ 注意

- ●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
- ●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがＯリングに付着していないことを確認してください。

※Ｏリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

温水洗浄便座　**重大事故防止のためのお願い**

温水洗浄便座は電気製品で寿命があります

故障したままで使いつづけないでください。

故障したままのご使用は、**火災や感電、室内浸水の原因**になります。異常に気づいたら、**電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へご連絡ください。

定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店、工事店またはメーカーにご相談ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

故障したままで使いつづけないでください。火災や感電、室内浸水の原因になります。

便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。	酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。	電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング※現象で火災の原因になります。

※トラッキングとは･･･電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラック（電気の道）ができる。トラックのできた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックリスト　**症状がひとつでも該当する場合は、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、直ちに販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へご連絡ください。**

便座・便座コード　便座や本体、便座コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- □ 本体や便座にひびや割れがありませんか？　ゴム足は外れていませんか？
- □ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか？
- □ 便座の開閉はスムーズですか？ ガタツキはありませんか？
- □ 便座コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？ 焦げ臭いにおいがしませんか？

電源コード・電源プラグ　電源コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- □ 電源コードが熱くなっていませんか？　傷んだり、挟みこんだりしていませんか？
- □ 電源プラグにほこりがたまっていませんか？

水漏れ　水漏れしている状態で、使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。

- □ 本体や止水栓まわりから水漏れはありませんか？

温水洗浄便座協議会　後援 経済産業省
〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18　http://www.sanitary-net.com
フリーダイヤル 0120-39-7718　受付時間　平日09:00～17:00

修理を依頼される前に

《故障かなと思ったら》

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

現　象	原　因	処　置
便座裏に水滴が付着する。	シャワーの飛び散りにより便座裏に水滴が付着した。	こまめにふきとってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。
シャワーが出ない。 （ノズルが出ない。） 〈シャワートイレの場合〉	電気がきていない。	停電、漏電遮断器等を確認します。
	電源スイッチが「切」になっている。	電源スイッチを押して、本体の表示部の電源 / 節電ランプを点灯させます。
	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を反時計回りに 90° 回します。 （☞ 11 ページ）
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。（☞ 32 ページ）
	便器洗浄中ではありませんか。	故障ではありません。便器洗浄が終わってから、ご使用ください。
	着座センサーが入っていますか。	便座に座ってください。（☞ 24 ページ）
	水道圧が低くないですか。洗浄強さが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さを強くします。（☞ 15 ページ）
	給水ホース等が凍結している。	温かいお湯に浸した布等で、給水ホースや給水接続部を温めてください。または、室内を暖めて自然解凍を待ってください。
	リモコンの電池が切れている。	新しい電池に交換します。（☞ 33 ページ）
	温水タンクが満水になっていない。	試運転を行います。（☞ 11 ページ）
シャワーが温かくない。 〈シャワートイレの場合〉	温水温度が適当な温度に調節されていますか。	温水スイッチを切替え、適当な温度に調節します。 （☞ 13 ページ）
	長時間洗浄した。	約 10 分で温かくなります。（☞ 24 ページ）貯湯式のため、おしり（ビデ）の使用時間に応じてシャワーの温度が低下しますが、異常ではありません。
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。（☞ 20 ページ）
便座が暖かくない。	電源スイッチが「切」になっている。	電源スイッチを押して、表示部の電源ランプを点灯させます。（☞ 13 ページ）
	便座温度が適当な温度に調節されていますか。	便座ダイアル（または、便座温度スイッチ）を切替え、適当な温度に調節します。 （シャワートイレの場合：13 ページ、暖房便座の場合：14 ページ）
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。（☞ 20 ページ）
脱臭ファンが回らない。 〈シャワートイレの場合〉	脱臭が「切」にセットされていませんか。	脱臭を「入」にセットします。（☞ 17 ページ）
脱臭効果が弱くなった。 （ニオイが気になる） 〈シャワートイレの場合〉	脱臭カートリッジにホコリ等が付着していませんか。	脱臭カートリッジを掃除します。 （☞ 30 ページ）
	脱臭カートリッジが寿命ではありませんか。	脱臭カートリッジを交換してください。 （☞ 30 ページ）

現　象	原　因	処　置
本体表示部の電源ランプが点滅している。（暖房便座の場合はノンタッチ洗浄ランプ）	温水、便座のいずれかの機能に不具合が生じている。	**電源スイッチを「切」にしても点滅している場合は故障していますので、漏電遮断器を「切」にして、修理を依頼してください。**
	点検時期が来ている。	**電源スイッチを「切」にしたら消灯する場合は、点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。（点検されるまではご使用になれます。）**
便器内に水が流れっ放しになる。	機能に不具合が生じている	**止水栓を閉め、修理を依頼してください。**
リモコンのスイッチを押しても動作しない（電源ランプは点灯している）	インバーター照明を使用していませんか。	照明を消して動作を確認してください。
水の流れが悪い または、汚物がよく残る。	止水栓が十分開いていますか。 ストレーナーが目詰まりしていませんか。	止水栓を十分開けてください。ストレーナーの掃除をします。（☞ 32 ページ）
	水道圧が低くなり、洗浄水量が少なくなっている可能性があります。	ECO6 節水便器（※品番の末尾に U が付きます。品番例：DV-156GU）の場合は、洗浄水量を増やしてください。（☞ 42 ページ）**それでも、水の流れが悪く汚物が残る場合は INAX メンテナンスへご連絡ください。**
床が濡れている （便器表面や止水栓が濡れている）	水温と室温の差が大きく、結露が発生し水滴が垂れた可能性があります。	換気扇や、窓を開けると結露を軽減できます。（☞ 25 ページ）
床が濡れている （便器表面や止水栓は濡れていない）	尿が便器を伝って床に垂れた可能性があります。	床をふいてしばらく様子をみてください。それでも床の濡れている場合は、**コンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**
便器を洗浄すると「ゴボゴボ」と音がする	故障ではありません。 汚物を便器から排出する際に、空気も同時に巻き込むためゴボゴボと音が発生します。	ゴボゴボと音が 2 秒以上続く場合は、通気管等を設置することで軽減できます。工事された業者さまへご相談ください。
便器洗浄後に床下の排水管から「ポタポタ」と音がする	故障ではありません。 便器の排水が床下にある排水管に落下する音です。	
便器の水面の大きさが小さい	サイホン式や洗い落とし式といった便器の種類によって水面の大きさが異なります。	
洗浄時に、洗浄した水がはねる	便器は勢いよく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水がぶつかり水がはねる場合があります。	
用便時に水がはね返る（おつり）	便器に水たまりがあることが原因ですが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため構造上避けられない現象です。	あらかじめ、トイレットペーパーを浮かせてご使用いただけば軽減できます。
便器（陶器）にピンク色の汚れがある	空気中のバクテリアが、便器に付着した汚れを栄養に繁殖したものです。バクテリアは水中や空気中に分布しており、健康な人に害を及ぼす細菌ではありません。	中性洗剤を使用して掃除してください。 繁殖しやすいためこまめなお手入れをおすすめします。漂白剤を使うと除菌効果があります。

現　象	原　因	処　置
便器（陶器）の中に黒い粗状の付着物ができる 便器の中に、赤いサビの付着物がある	給水管のサビが洗浄時に流れて便器に付着したものです。	トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、数時間程度付着した部分にあてて放置した後、布でふきとってください。
便器（陶器）を掃除していたらスジ状の金属キズがついた（メタルマーク）	便器と金属が接触すると、便器よりも金属が柔らかいためスジ状の線がつくことがあります。 キズではなく便器表面に付いている汚れと同じです。	トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1 時間程度付着した部分にあてて放置した後、布でふきとってください。 応急処置として、市販のけんま材入りトイレ用中性洗剤でも汚れを落とすことは可能です。 ※ただし便器（陶器）のうわぐすりを削りとってしまうため、強くこすらないでください。また、継続的な使用は控えてください。
子供の便が付着して落ちない	幼児や児童等の身長が低い方がご使用になると、着座位置が浅くなり、水面の外側に便が落ちて付着するため、便器洗浄しても落ちない場合があります。	
新品なのに便器の底が黄ばんでいる・汚れている	照明器具の灯りによって、便器の影が底面に映るため、汚れのように見えることがあります。	照明器具を消して、ご確認ください。

上記処置で故障が直らない場合は、お求めの取扱店または INAX メンテナンスへご相談ください。

洗浄水量の増やし方

【DV-156GU 型・DV-155GU 型の場合】

「ノンタッチ洗浄」と「電源 / 節電」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押します。

（セット完了時、「ピッピッ」という音がなります。）

同じタイミングで 6 秒以上押します。

【DV-151GU 型の場合】

「ノンタッチ洗浄」と「便座 / 節電」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押します。

（セット完了時、「ピッピッ」という音がなります。）

同じタイミングで 6 秒以上押します。

洗浄水量を元に戻す必要がある場合は、お客さま相談センターまでお問い合わせください。

（☞ 47 ページ）

【DV-156A 型・DV-155A 型・DV-151A 型の場合】

お買い上げ時より、洗浄水量は大：8L、小：6L となっています。上記の手順で洗浄量を増やすことはできません。

安全・安心にお使いいただくために

温水洗浄便座は電気製品のため、長期間ご使用いただくうちに経年劣化により事故に至る恐れがあります。また、故障したままご使用を続けると製品事故に至る可能性がありますので、故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または INAX メンテナンスまでご連絡ください。

1. 所有者登録のお願い

シャワートイレを安全かつ安心してお使いいただくために、製品安全や保守に関わる情報をご提供できるよう、所有者登録をお願いしております。所有者登録のお手続きは、Web でのご登録、または専用ハガキに必要事項をご記入の上、当社までご返送ください。

詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。

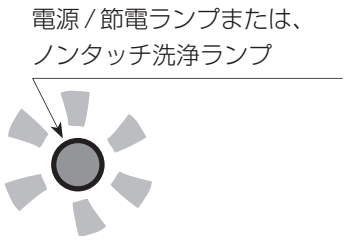
※ 一般家庭以外でご使用のオーナーさまは Web のみのご登録となります。

※ ご登録等をされるときには、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。

2. 点検時期お知らせ表示（タイムスタンプ）機能について

製品のご使用を開始して約 10 年が経過すると、電源 / 節電ランプが連続して 1 秒間に約 5 回の点滅を繰り返します。※

※ 暖房便座（DV-151 型）の場合は、ノンタッチ洗浄ランプが点滅・点灯を一定間隔で繰り返します。



この表示は、お客さまにご安心してご使用いただくための機能であり、機器の故障ではなく、長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障が無いかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。

当社では安全点検（有料）をご用意しております。

この機会に、内部的な確認を含んだ点検をおすすめいたします。

※ 詳しくは、お客さま相談センターへお問い合わせください。（TEL 0120-1794-00）

3. セルフチェック項目

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身でも行うことができます。
下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。
点検をしていただいても故障が直らない場合や調子が悪い場合は、INAX メンテナンスにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願い致します。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

1つでも該当する場合

次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。
電源プラグを抜き止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または INAX メンテナンス 修理受付センターまでご連絡ください。(電源プラグがない機種は、本体の点検口フタ内の電源スイッチでシャワートイレ本体の電源を切ってください。)

	点検目安※	実施日					
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❶ 本体や便座にひびや割れがありませんか? ゴム足は外れていませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❷ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❸ 便座の開閉はスムーズですか?便座のガタツキはありませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。							
❹ 水漏れがありませんか? 同時に、ロータンクの中の金具や浮き玉の動き、洗浄ハンドルの戻りなど、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード・電源プラグ 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❺ 電源コードが熱くなっていませんか?傷んだり、挟み込んだりしていませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❻ シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障(異臭・異音)していませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❼ 電源プラグにほこりがたまっていませんか? はい □→ ほこりを取り除いてください。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /

※点検目安は弊社お勧めの期間です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

4. 点検の修理、お申し込みは

INAXメンテナンス　修理受付センター

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

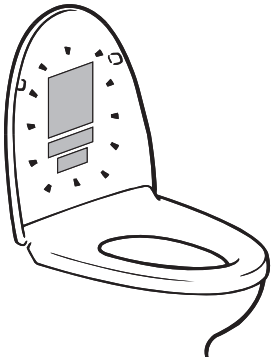
5. 製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容)

●経年劣化により事故に至る恐れがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年（本体に西暦４桁で表示してあります。）

⚠ 警告	**【想定安全使用期間】10 年** 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガ等の事故に至る恐れがあります。



(想定安全使用期間とは)

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	**電圧・周波数**	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	**定格負荷**	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定時間	４人家族（男性２人、女性２人）において、大便：１回 / 日・人、小便男性：４回 / 日・人、小便女性：４回 / 日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

参考

経年劣化について

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かなと思ったら」（39 ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または INAX メンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●コードの傷みやコンセントのガタツキ
- ●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠ 警告

- ●シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、漏電遮断器を「切」にして、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しないでください。
  ※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。
- ●シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、漏電遮断器を「切」にして、止水栓を閉めてください。
  ※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■保証期間中の修理

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

■連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
   （便フタ裏または製品本体に張ってあるシールをご覧ください。）
3. お取付日（保証書をご覧ください。）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

※ ご登録等をされるときには、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。

4. 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後、便器部が１０ 年、それ以外（シャワートイレ機能部）は６ 年です。
点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。
※ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

●負圧破壊装置（バキュームブレーカー）･･･６年ごとに点検
●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買い上げより３年たったもの
●温泉地域および海岸付近等、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
●長期間のご使用により電源 / 節電ランプ（暖房便座の場合はノンタッチ洗浄ランプ）が点滅したら

定期点検については、INAX メンテナンスまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使い方・お手入れ方法等のお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　　9:00～18:00
　　土・日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※ フリーダイヤルは、携帯電話･PHS･IP電話などでは
ご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

7. 商品についての修理のご依頼は

INAXメンテナンス　修理受付センター

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

■延長保証について

通常、保証期間は２年間ですが、「所有者登録」されますと無料でさらに延長されます。
Web からご登録いただくか、同梱の「所有者登録ハガキ」に必要事項を記入し、アンケートにお答えいただいて郵送してください。
※ 詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。
※ 一般家庭以外でのご使用は、Web でご登録いただいた場合のみ１年間延長され、計３年間保証になります。

仕様

グレード			DV-156GFU 型 除菌イオン 擬音装置付	DV-156GU 型 除菌イオン 擬音装置なし	DV-155GFU 型 擬音装置付	DV-155GU 型 擬音装置なし	DV-151GU 型 暖房便座
定格電源			AC100V 50/60Hz				
定格消費電力			580W				55W
省エネ区分			貯湯式				–
年間消費電力量※			234kWh/ 年 （節電機能切時：316kWh/ 年）				160kWh/ 年
使用水道圧範囲	最低必要圧力		0.07MPa （流動時）				
	最高水圧		0.75MPa （静水圧）				
使用温度範囲			0℃～ 40℃				
商品寸法			幅 425mm ×奥行 635mm ×高さ 675mm				
商品質量			約 30 ｋｇ （機能部：約 8Kg、便器部：約 22kg）				約 28kg （機能部：約 6kg, 便器部：約 22kg）
電源コード			端子直結式 / 漏電保護プラグ付電源コンセント				
便器部	洗浄水量		大洗浄 6L、小洗浄 5L (ECO6 モード解除時：大洗浄 8L、小洗浄 6L）				
	給水方式		水道直結式				
	便器洗浄方式		ダイレクトバルブ式				
	サイズ		大型				
機能部	洗浄	給水方式	水道直結式				
		給湯方式（タンク容量）	貯湯式（2.00L）				–
		おしり吐水量	パワフル洗浄 :1.0 ～ 1.8L/ 分（供給水圧 0.2MPa のとき） マイルド洗浄 :1.5 ～ 2.0L/ 分（供給水圧 0.2MPa のとき）				–
		ビデ吐水量	マイルド洗浄 :1.5 ～ 2.0L/ 分（供給水圧 0.2MPa のとき）				–
		温水温度	水温～約 40℃（無段階切替）				–
		ヒーター容量	500W				–
		安全装置	空焚防止フロートスイッチ・ 温度ヒューズ・高温感知スイッチ				–
	暖房便座	表面温度	使用時：室温・約 28℃～約 36℃ (無断階切替)				使用時：室温・約 28℃～約 36℃
		ヒーター容量	48W				
		安全装置	温度ヒューズ				
	脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式				–
		脱臭能力	着座時：0.11 ㎥ / 分 アフター脱臭時：0.14 ㎥ / 分				–
	除菌イオン	風量	0.3 ㎥ / 分以上		–	–	–
		方式	プラズマクラスター技術による 分解・除去方式		–	–	–

※：省エネ法（2012 年度基準）に基づいた測定値。

注意 この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

グレード			DV-156AF 型 除菌イオン 擬音装置付	DV-156A 型 除菌イオン 擬音装置なし	DV-155AF 型 擬音装置付	DV-155A 型 擬音装置なし	DV-151A 型 暖房便座
定格電源			AC100V 50/60Hz				
定格消費電力			580W				55W
省エネ区分			貯湯式				–
年間消費電力量※			234kWh/ 年 （節電機能切時：316kWh/ 年）				160kWh/ 年
使用水道圧範囲	最低必要圧力		0.07MPa （流動時）				
	最高水圧		0.75MPa （静水圧）				
使用温度範囲			0℃～ 40℃				
商品寸法			幅 425mm ×奥行 635mm ×高さ 660mm (680mm : BC-950P 組合せ時)				
商品質量			約 30 ｋｇ （機能部：約 8Kg、便器部：約 22kg）				約 28kg （機能部：約 6kg, 便器部：約 22kg）
電源コード			端子直結式 / 漏電保護プラグ付電源コンセント				
便器部	洗浄水量		大洗浄 8L、小洗浄 6L				
	給水方式		水道直結式				
	便器洗浄方式		ダイレクトバルブ式				
	サイズ		大型				
機能部	洗浄	給水方式	水道直結式				
		給湯方式（タンク容量）	貯湯式（2.00L）				–
		おしり吐水量	パワフル洗浄 :1.0 ～ 1.8L/ 分（供給水圧 0.2MPa のとき） マイルド洗浄 :1.5 ～ 2.0L/ 分（供給水圧 0.2MPa のとき）				–
		ビデ吐水量	マイルド洗浄 :1.5 ～ 2.0L/ 分（供給水圧 0.2MPa のとき）				–
		温水温度	水温～約 40℃（無段階切替）				–
		ヒーター容量	500W				–
		安全装置	空焚防止フロートスイッチ・ 温度ヒューズ・高温感知スイッチ				–
	暖房便座	表面温度	使用時：室温・約 28℃～約 36℃ (無断階切替)				使用時：室温・約 28℃～約 36℃
		ヒーター容量	48W				
		安全装置	温度ヒューズ				
	脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式				–
		脱臭能力	着座時：0.11 ㎥ / 分 アフター脱臭時：0.14 ㎥ / 分				–
	除菌イオン	風量	0.3 ㎥ / 分以上		–	–	–
		方式	プラズマクラスター技術による 分解・除去方式		–	–	–

※：省エネ法（2012 年度基準）に基づいた測定値。

注意 この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

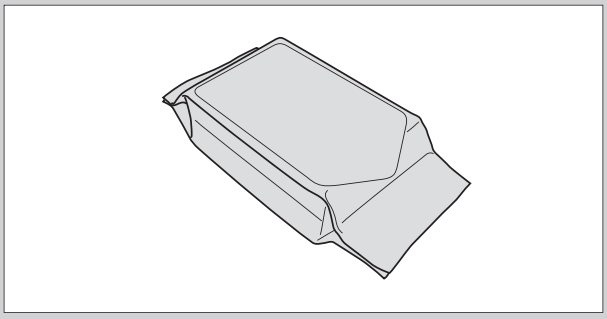
別売品について

■トイレ用おそうじティッシュ

4個セット 品番：CWA-36-4SET

12個セット品番：CWA-36-12SET

プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。
使用後、便器にそのまま流せます。
(☞ 27 ページ)



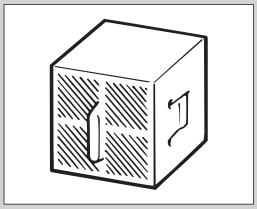
■シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

■シャワートイレお掃除クリーナー（業務用）（品番：CWA-22）

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふきとるだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。
(☞ 27 ページ)

■取替え用脱臭カートリッジ（品番：CWA-29）

脱臭カードリッジの寿命は、約4年です。
ニオイが気になりだしたら交換してください。
(☞ 30 ページ)



別売品の購入方法

● 直接、購入される場合

弊社商品の取扱店でお求めください。

● 宅配サービスをご利用される場合

INAX メンテナンスにご連絡ください。
宅配サービスにてお届けいたします。（宅配サービスでは送料が別途必要となります。）
[電話注文]
電話番号　0120-00-1794
受付時間　9：00 ～ 17：00（夏期・年末年始の休みは除く）
[インターネット利用]
下記ホームページアドレスにアクセスして、商品をお求めください。
http://inax.lixil.co.jp/aftersupport/(24 時間受付)
（インターネットではお取扱いしていない商品もございます。あらかじめご了承ください。）

商品のお問い合わせは
お客さま相談センターへ

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　9:00～18:00
土・日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

修理のご依頼は
INAXメンテナンス修理受付センターへ

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間　9:00～20:00（365日受付）

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

年　月　日	損傷と処置	サービス担当者

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

GCW-1230D(11040)